

FUKUOKA SOFTWARE CENTER



FUKUOKA SOFTWARE CENTER

2021年度 IT技術者育成研修講座のご案内

<https://www.fsc-go.co.jp>

INDEX

株式会社福岡ソフトウェアセンター 2021年度IT技術者育成研修講座

【研修日程】

◆弊社の研修への取り組み	2
◆研修の全体体系	2
◆FISAタイアップ研修	2
◆ITスキル標準(ITSS)とは	3
◆公的助成金制度のご案内	3
◆新型コロナウイルス感染防止対策ための研修運営ガイドラインについて	4
◆福岡研修室の全面リニューアルについて	4
◆ITエンジニア育成コース:新入社員研修	5
◆IT技術コース	6
◆ビジネススキルコース・ヒューマンスキルコース	7

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

◆IT技術コース:基盤	8
◆IT技術コース:アプリケーション	11
◆ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス	16
◆ビジネススキルコース:問題解決・思考方法	17
◆ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント	19
◆ヒューマンスキルコース:リーダーシップ	21
◆ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他	24

【受講申込書】

◆お申込み方法、受講料払込み方法、お申込みお問い合わせ先	28
◆個人情報の取り扱いについて	29
◆FSC受講申込書	30
◆FISAタイアップ研修 受講申込書	31

【研修会場のご案内】

◆マップ	32
------	----

※各研修の詳細なカリキュラムについては、当社ホームページでご確認下さい。

<https://www.fsc-go.co.jp>

■ 弊社の研修への取り組み

近年における産業の近代化・高度化にともなう進歩は、情報化の飛躍的な発展をもたらし、革命的とも言える変遷をとげております。こうした情報化の厳しくかつ激しい時代の流れのなかで、企業にとってこの情報化に対する「高度情報処理技術者」の育成や確保という問題はまさに生き残りをかける程の重要性を帯びるまでになっております。弊社は地域産業発展の礎となるこの「高度情報処理技術者」の育成を第一使命として、平成四年に国・県・市・民間出資により、第三セクター方式で設立されました。「1. ヒトを育てる 2. 拠点をつくる 3. 事業を起こす」の三つの柱を基に、産・学・官のコーディネーターとして、21世紀の高度情報化社会を担う人材の育成と技術の向上に努めているところです。本書はその第一の柱である「1. ヒトを育てる」を実践するために、弊社が主催するIT技術者育成研修を各企業様に広くご活用頂くためのご紹介資料です。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

■ 研修の全体体系

● 新入社員研修(4月～6月:3ヶ月コース)

ITエンジニア育成コース

・ 新入社員研修 (P5)

● IT技術者育成研修(7月～2月)

IT技術コース

・ 基盤 (P8)
・ アプリケーション (P11)

ビジネススキルコース

・ 戦略立案・ビジネスアナリシス (P16)
・ 問題解決・思考方法 (P17)
・ プロジェクトマネジメント (P19)

ヒューマンスキルコース

・ リーダーシップ (P21)
・ コミュニケーション・その他 (P24)

■ FISAタイアップ研修

IT技術者育成研修(7月～2月)は、弊社が単独で主催するものと、一般社団法人福岡県情報サービス産業協会(FISA)とタイアップにて開催する「FISAタイアップ研修」があります。

FISAタイアップ研修は、「研修日程(P6～P7)のTopic欄」に『FISA xx』と記載しています。

FISA会員の企業様は、「FISAタイアップ研修受講申込書」(P31)に、必要事項をご記入いただき、FISAにお申込みいただくと、会員価格(「研修日程の受講料欄」に記載)にてご受講いただくことができます。

※FISA:一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会(<https://www.fisa.jp/>)

■ITスキル標準(ITSS)とは

各種IT関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化・体系化した指標であり、産学におけるITサービス・プロフェッショナルの教育・訓練等に有用な「ものさし」(共通枠組)を提供しようとするものです。ITサービス企業においては、企業戦略に沿った戦略的な人材育成・調達を行う際の指標となり、自社に必要な人材のポートフォリオを示すための共通言語となります。独自の取り組みによって既にスキルに関する何らかの基準を持つ企業においては、スキル標準との対応関係の整理を行うことにより、自社の基準の客観的な位置づけを把握することが可能となります。ITスキル標準は、これらのプロフェッショナルの成長・育成に関連する様々な主体が、有機的な連携を図る上で必要な辞書的な機能を持つことを目指すものです。

- ◆レベル1: 情報技術に携わる者に最低限必要な基礎知識を有する。
- ◆レベル2: 上位者の指導の下に、要求された作業を担当する。プロフェッショナルとなるために必要な基本的知識・技能を有する。
- ◆レベル3: 要求された作業を全て独力で遂行する。スキルの専門分野確立を目指し、プロフェッショナルとなるために必要な応用的知識・技能を有する。
- ◆レベル4: プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、自らのスキルを活用することによって、独力で業務上の課題の発見と解決をリードするレベルに達している。

(独立行政法人情報処理推進機構、ITスキル標準センターのホームページより抜粋
https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/download_V3_2011.html)

■公的助成金制度のご案内

人材開発支援助成金については、福岡労働局(助成金センター)又は弊社までお問い合わせください。弊社では、申請書類作成のサポートを行っております。お気軽にご相談ください。

【助成メニュー(訓練関連)】

雇用保険の被保険者に対し、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした訓練を実施した場合、その経費や賃金の一部を助成します。

支給対象となる訓練等	賃金助成 (1人1時間当たり)		経費助成	
		生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合
①特定訓練コース	760円(380円)	960円(480円)	45%(30%)	60%(45%)
②一般訓練コース	380円	480円	30%	45%

※()は中小企業以外の助成額・助成率

【公的助成金のお問合せ先】

福岡助成金センター(福岡労働局)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館1F TEL:092-411-4701(直通)

又は、(株)福岡ソフトウェアセンター 中村、犬丸までお問合せ下さい。TEL:092-292-9710

■新型コロナウイルス感染防止対策ための研修運営ガイドラインについて

福岡ソフトウェアセンターでは、研修を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症防止対策として、以下のガイドラインに沿って運営してまいります。

1. ソーシャルディスタンスの確保

- ①受講生の座席間隔を十分確保し、2人掛けの場合は、アクリル板等で飛沫を防ぎます。
- ②窓やドアの開閉による換気を定期的に行います。
- ③講師と受講生の距離を確保します。

2. 衛生管理

- ①参加者に終日マスク着用をお願いします。
- ②会場に消毒液を設置し、入室時に手の消毒をお願いします。
- ③会場内の消毒を徹底します。

3. ご参加者の健康管理

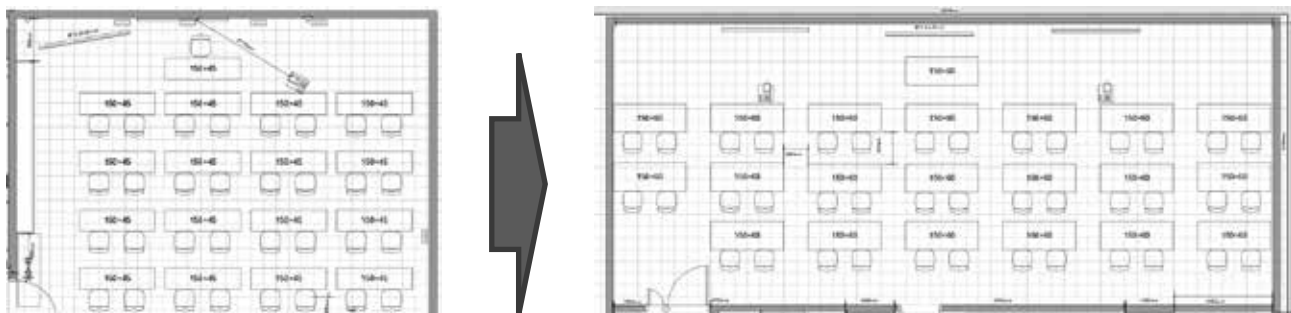
- ①開始前に参加者の検温を行い37.5度を上回る場合は、受講をご遠慮いただきます。
- ②新型コロナウイルス感染症陽性とされた方と濃厚接触が疑われる場合は、受講をご遠慮いただきます。

4. 研修のオンライン対応

- ①緊急事態宣言が発令されるなど感染状況によっては、オンライン研修に切替えて実施いたします。
- ②オンライン研修が難しい場合、研修を中止・延期する場合があります。

■福岡研修室の全面リニューアルについて

令和3年4月に、福岡ソフトウェアセンター福岡研修室を、ソーシャルディスタンス確保の為、増床リニューアルいたします。



◆研修室の広さを、約1.6倍に拡張

研修室を大幅に増床(50㎡→80㎡)することで、ソーシャルディスタンスを確保します。

◆研修用機の大型化

研修機の奥行きを15cm大きくすることで、より快適な研修環境を提供します。

◆研修用スクリーンの増設

研修用スクリーンを受講人数に合わせて準備(1台～3台)することで、講義の質を高めます。

研 修 日 程

No	講座名	受講料 (税込)	日数	ITSS	4月	5月	6月	研修内容
ITエンジニア育成コース:新入社員研修								
01	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	59,400円	3日間	-	5-7			ITエンジニアに必要なビジネススキルを習得します。挨拶・電話応対・名刺交換等のビジネスマナーをはじめとし、PDCA・報連相といった仕事の基礎的内容からビジネスに不可欠なコミュニケーション、ITエンジニアとして求められるマナーを習得します。
02	コンピュータサイエンス	59,400円	3日間	1	8-12			コンピュータ技術で最も基礎となるコンピュータの仕組みやハードウェア及びソフトウェアの機能を学習します。
03	情報セキュリティ & データ管理	39,600円	2日間	1-2	13-14			情報セキュリティの考え方や情報モラルに関して基礎的な内容を学びます。またデータを扱う上で必要となるOSやネットワーク上でのデータ管理および設定方法に関して学習します。
04	ネットワーク技術	79,200円	4日間	1-2	15-20			現在の情報システムに欠かせないネットワーク技術について、LANを中心にC/S(クライアント/サーバ)ネットワークの基礎知識を学習します。ネットワークの設計、構築を中心に、机上/実機演習を行います。
05	アルゴリズム	59,400円	3日間	1-2	21-23			プログラミングする上での前提知識であるアルゴリズムおよびデータ構造を、流れ図(フローチャート)を使った演習を通して学習します。
06	データベース技術	59,400円	3日間	1	26-28			情報システムの基盤となるデータベースをファイルの概念を含め、データ操作に必要な知識を中心に学習します。また、RDBMS製品を使用したハンズオントレーニングも行います。
07	IT理解度・目標チェック	19,800円	1日間	-	30			基本情報処理試験の午前問題を解くことにより理解度の確認をすると共に、設定した目標の振り返りおよび見直しを行います。
08	開発に必要なドキュメント作成 (Excel & Word & Mail)	39,600円	2日間	1		6-7		開発で利用するドキュメントを効率よく作成するために必要なExcelとWordの機能を学習します。また、メールにおける文章の書き方等、業務での利用方法を学びます。
09	プログラミングワークショップ1 (Java言語)	59,400円	3日間	1		10-12		Java言語の基本文法(式と演算子、変数と型、制御構造等)について理解し、演習を通してプログラミングスキルを取得するワークショップです。
10	プログラミングワークショップ2 (Java言語)	59,400円	3日間	1		13-17		プログラミングワークショップ1に引き続きJava言語の基本文法(メソッド、配列等)を学習します。プログラミング課題を実施することによりさらにプログラミングスキルを深めます。
11	HTML5/CSS3	39,600円	2日間	1-2		18-19		Webページ作成の基本および、主流となっているHTML5とCSS3でのWebページ構築について学習します。
12	ITエンジニアに必要なプレゼンテーション実践	39,600円	2日間	1-2		20-21		IT技術者にとって必要不可欠な対人対応能力を、情報収集スキルとプレゼンテーションスキルをベースに、実際のインタビューやプレゼンテーションを行いながら学習します。
13	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング	99,000円	5日間	1-2		24-28		オブジェクト指向について理解し、Java言語でオブジェクト指向プログラミングを行う力を身につけます。
14	システム開発およびレビューとテスト	39,600円	2日間	1-2		31-1		システムの開発プロセス並びに開発技法の基本的な考え方を理解し、ソフトウェア開発におけるレビューのやり方、レビューのポイントを学びます。また、ソフトウェア開発における最終段階となるテストについて、品質向上の観点からとらえたテスト実施ができるように、テスト技法に関して演習を行っていきます。
15	サーバサイド技術	99,000円	5日間	2			2-8	Webアプリケーション開発に必要なサーバサイドJavaのサーブレットおよびJSPIに関して学習します。Tomcatを用いたアプリケーションサーバの構築、さらにJDBCでのDBアクセスも学習します。
16	システム開発ワークショップ1	79,200円	4日間	2			9-14	システム開発の上流工程である要件定義をグループで行っていきます。課題はWebアプリケーションの開発で、プロジェクトの開発現場を経験する実践的なワークショップです。
17	システム開発ワークショップ2	198,000円	10日間	2			15-28	システム開発ワークショップ1で作成した要件定義書を元に外部設計、内部設計、製作、デバッグと下流工程を含めて全ての工程を実施します。グループでのプロジェクト開発であり決められた納期までに品質を考慮して完成させる実践的なワークショップです。最終日はワークショップで開発した成果をグループで発表します。発表風景はオンラインにて各社に配信します。
18	ITエンジニアに必要なビジネススキル2	39,600円	2日間	-			29-30	全研修を振り返りIT人材として自身の成果とこれからの決意を個人毎にプレゼンテーションを行います。また配属に際してITエンジニアに必要なコミュニケーション及びビジネススキルの見直しを行います。

※ITエンジニア育成コースのカリキュラム詳細は、弊社Webサイト(<https://www.fsc-go.co.jp>)に掲載しております。

研 修 日 程

Topic	No	講座名	詳細 (P)	受講料 (税込)	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
IT技術コース: 基盤													
	100	IT技術者必須のネットワーク技術 ～ネットワークの基本から学ぶ～	P8	77,000円	3日間	7-9							
NEW	101	Webアプリケーション開発のための情報セキュリティ対策	P8	60,500円	2日間			16-17					
FISA 1	102	Raspberry PiによるIoTことはじめ	P9	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間				25-26				
	103	ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」	P9	60,500円	2日間				28-29				
FISA 2 NEW	104	仕事に役立つデータ分析 ～統計分析の基礎から実践編までを学ぶ～	P10	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間					11-12			
NEW	105	ネットワークセキュリティ応用	P10	60,500円	2日間						13-14		
FISA 3 オンライン	106	《オンライン研修》ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」	P11	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間								1-2
IT技術コース: アプリケーション													
FISA 4	107	Pythonによる機械学習入門	P11	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間	12-13							
FISA 5	108	Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで～	P12	69,300円(会 員) 77,000円(非会員)	3日間		30-1						
	109	ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習	P12	60,500円	2日間			7-8					
	110	SQL ～テーブル結合の基本からパフォーマンスチューニングまで～	P13	77,000円	3日間			29-1					
NEW	111	ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習(実践編)	P13	60,500円	2日間				12-13				
	112	Pythonで学ぶ機械学習	P14	60,500円	2日間					16-17			
FISA 6	113	KerasによるAIモデルの構築手法	P14	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間					30-1			
	114	IT技術者のためのRPA入門	P15	60,500円	2日間						2-3		
	115	PHPによるWebアプリケーション開発	P15	77,000円	3日間						6-8		
FISA 7 オンライン	116	《オンライン研修》Pythonで学ぶ機械学習	P16	69,300円(会 員) 77,000円(非会員)	3日間								8-10

研 修 日 程

Topic	No	講座名	詳細 (P)	受講料 (税込)	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス													
	117	生産性を上げるタイムマネジメント	P16	31,900円	1日間		19						
	118	顧客の心をつかむITソリューション提案の実践	P17	60,500円	2日間				5-6				
ビジネススキルコース:問題解決・思考方法													
FISA 8	119	信頼されるSEに求められる問題解決力	P17	69,300円(会 員) 77,000円(非会員)	3日間		23-25						
FISA 9 NEW	120	アイデアの発想展開法	P18	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間			2-3					
	121	システム開発におけるレビュー技法 ～ミーティング時間の短縮とより重大な欠陥を見つけるために～	P18	60,500円	2日間				7-8				
ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント													
	122	失敗しないプロジェクトのための段取り力 ～プロジェクトの立上げと計画立案のために～	P19	60,500円	2日間			9-10					
NEW	123	ショートケースメソッドによるオンラインITプロジェクトマネジメントのリスク予防・予知トレーニング	P19	60,500円	2日間				14-15				
NEW	124	デジタル時代の変化に対応するプロジェクトマネジメント～PMBOKとアジャイルのイイトコ取り～	P20	60,500円	2日間						9-10		
	125	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ～プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する～	P20	77,000円	3日間						15-17		
FISA10 NEW	126	テレワーク時代のはじめての業務の見える化(要件定義)入門	P21	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間							13-14	
ヒューマンスキルコース:リーダーシップ													
NEW	127	エンゲージメント向上研修 ～メンバーの意欲を高め離職を防ぐ新しい考え方～	P21	31,900円	1日間		27						
	128	ファシリテーション力向上研修	P22	31,900円	1日間			14					
FISA 11	129	サーバントリーダーシップ研修 ～部下の成長を促進する奉仕型リーダーシップ～	P22	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)	1日間					9			
NEW	130	活かすフォローアップ	P23	60,500円	2日間					18-19			
FISA 12 オンライン	131	《オンライン研修》チームリーダーのための人に教える技術 ～自分で考えて動ける人材を育てる～	P23	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)	2日間					25-26			
ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他													
FISA 13	132	ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性	P24	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)	1日間	15							
	133	【女性向け】ありたい自分のキャリアデザイン研修	P24	60,500円	2日間	20-21							
FISA 14	134	上司部下の関係で生かすアンガーマネジメント	P25	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)	1日間	27							
FISA 15 NEW	135	女性管理職(女性リーダー)育成研修 ～個性を認め魅力あるチーム作りを目指して～	P25	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)	1日間			28					
	136	IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～	P26	60,500円	2日間				19-20				
	137	心理学を応用したメンタルヘルス・マネジメント	P26	60,500円	2日間				21-22				
NEW	138	産休育休前後の女性職員サポート	P27	31,900円	1日間							18	
	139	ブラッシュアップ・ビジネスマナー ～信頼されるビジネスパーソンになるために～	P27	31,900円	1日間								18

※最低開催人数は5名とさせて頂いております。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させて頂きます。

※講座改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

※Topicに「NEW」と記された講座は、今年度より新たに開催される講座です。

※Topicに「オンライン」と記された講座は、オンラインでのみ実施される講座です。オフィスやご自宅で受講してください。

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:基盤

100 IT技術者必須のネットワーク技術 ～ネットワークの基本から学ぶ～

実施日	7/7～7/9	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	77,000円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 1-2		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		IT技術者に要求されるネットワーク技術を、演習を通して習得します。ネットワーク上の通信の基礎から、スイッチやルータなどの通信機器の動作について学び、実際にネットワーク設計および構築を行います。		1. ネットワークの基礎知識 ・通信プロトコル ・レイヤー ・OSI参照モデル ・LANとWAN ・回線交換とパケット交換 2. TCP/IPの基礎知識 ・TCP/IPのレイヤー構成 ・OSI参照モデルとの対応 ・ネットワークインタフェース層の役割 ・インターネット層の役割 ・トランスポート層の役割 ・アプリケーション層の役割 ・IPアドレス ・ポート番号 ・グローバルIPとプライベートIP ・サブネット化とサブネットマスク ・ハブ/スイッチの役割と機能 ・ルータの役割と機能 3. TCP/IPで通信するための仕組み ・MACアドレス ・ドメイン名 ・ルーティングとデフォルトゲートウェイ ・スタティックルーティングとダイナミックルーティング ・DHCPサーバ ・NATとNAPT 4. ネットワーク機器と仮想化 ・イーサネットの機能と構成 ・L2スイッチ ・L3スイッチとルータ ・無線LAN ・仮想化 5. ネットワークのサービス ・Webを支える技術 ・HTTP ・SMTP ・POP3とIMAP4 ・DNS 6. ネットワークのセキュリティ ・情報セキュリティの3大要素 ・ソーシャルエンジニアリング ・標的型攻撃 7. ネットワークの構築と運用 ・ネットワーク構成の設計 ・サブネット構成とIPアドレス割り当て ・トラブルシューティング 8. ネットワーク構築演習 ・スイッチ・ルータを用いたネットワーク構築 9. まとめ ・ネットワーク技術の最新動向	
●到達目標		1. ネットワークのしくみが理解できる 2. 主要なネットワークコマンドを活用したトラブルシューティングができる 3. スwitchやルータなど通信機器の動作が理解できる 4. 基本的なネットワークの設計および構築ができる			

101 Webアプリケーション開発のための情報セキュリティ対策

NEW

実施日	9/16～9/17	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		Webアプリケーションシステムの脆弱性が原因で発生するWebページの改ざん、情報漏えい、利用者に被害が及ぶ攻撃のしくみを実機を通して体験的に学習します。グループディスカッションで問題対策技術を話し合うことにより、必要なWeb技術をより深く理解します。		1. Web技術基礎【講義/演習】 ・HTML、CSS、XHTML、XML、DOM ・HTTP、Cookie、セッション管理 ・サーバサイド言語、クライアントサイド言語 ・Webサービス 2. Webアプリケーションに関連する攻撃 ・パラメータ改竄 ・スクリプトインジェクション ・クロスサイトスクリプティング ・クロスサイトリクエストフォージェリ ・SQLインジェクション ・LDAPインジェクション ・XQuery、XPathインジェクション、XMLインジェクション ・HTTPヘッダインジェクション ・HTTPレスポンススプリット ・強制ブラウズ ・ディレクトリトラバーサル ・ヌルバイト攻撃 ・OSコマンドインジェクション 3. Webサーバのセキュリティ設定 ・一覧表示の抑止 ・プログラム名/バージョン情報送出手の抑止 4. SSL(Secure Sockets Layer) ・暗号技術、認証技術 ・認証局、デジタル証明書 ・ApacheのSSL設定 5. Webで利用されるアクセス制限 ・ユーザ認証によるアクセス制限 ・接続元ホストによるアクセス制限 ・接続元ホストとユーザ認証を組み合わせたアクセス制限 ・アプリケーションによる認証機能の実装 6. DNSサーバのセキュリティ ・DNSキャッシュ汚染攻撃とは ・DNSキャッシュ汚染対策 7. プロキシサーバ ・フォワードプロキシ、リバースプロキシ ・プロキシを使う上での問題点 8. データベース ・スキーマの管理 ・アクセス権限の管理 ・ビュー表の利用 ・三層構造における完全な監査証跡の保存(SOX法対策) 9. セキュリティ運用 ・セキュリティ診断 ・侵入検知(IDS) ・ログの監	
●到達目標		1. 安全なWebアプリケーションの設計ができる 2. 安全なWebアプリケーションのコーディングができる 3. Webサーバのセキュリティを設定できる 4. Webシステムの安全な運用環境を構築できる			

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:基盤

102 Raspberry PiによるIoTことはじめ					FISA 1
実施日	10/25～10/26	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		Raspberry Piを使って、RaspberryPiOSのインストールから環境設定、RaspberryPiOS(Linux)の基本コマンド、Pythonを使ってGPIOピンに接続したパーツ(センサ、LED、モーター)を制御、そしてネットワークからHTTPを介してRaspberry Piをコントロールする知識を習得します。		- RaspberryPi - RaspberryPiの種類 - 製品仕様 - OS - GPIO - RaspberryPiOS - RaspberryPiOSとは - RaspberryPiOSのインストール - Linuxの基本コマンド - GPIOを使ったLED制御 - GPIOにLEDの接続 - PythonからGPIOを操作してLEDを制御する【演習】 - Python - Pythonの基本文法 - GPIO制御モジュール - GPIOを使ってスイッチ操作を検知 - GPIOにタクトスイッチを接続 - PythonでON/OFFを検知する【演習】 - センサ情報を取得 - GPIOにセンサを接続しPythonでデータを取得する【演習】 - ネットワークサービスとの通信 - RaspberryPiOSのネットワーク設定 - Webサービスとは - Pythonのhttplibモジュール - リモートPCにWebサービスを設置しPythonから接続する - センサ情報をリモートPCに送信しランプを制御する【演習】 - モーター制御 - GPIOにモーターを接続しPythonから操作する - リモートからRaspberryPiを操作 - リモートPCからブラウザを使用してRaspberryPiを操作 - RaspberryPiにWebサーバーを動作させる - PythonでWebアプリケーションを構築しモーターを制御する【演習】	
●到達目標		- Raspberry PiにRaspberryPiOSをインストールし環境設定をすることができる - GPIOピンを使いスイッチやLED、センサなどの制御の基本を体験する - ネットワークを使用したデータ送信やRaspberryPiへの指示を体験する			

103 ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」					
実施日	10/28～10/29	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		「セキュリティ」は専門家だけのものではなく、インターネットに接続する人であれば誰でも意識しておくべきです。本講座では、情報システムのセキュリティを実施、維持するためのセキュリティ技術について習得します。 ※同一内容の講座をオンライン形式(講座No.106)でも実施します。		- 情報セキュリティの概要 - 情報セキュリティの目的 - 情報セキュリティの定義 - 情報セキュリティの重要性について - セキュリティインシデントの現状 - セキュリティインシデントとは - セキュリティインシデント事例 - 攻撃と対策の最新動向 - 情報セキュリティ対策の概要 - 人的・管理的セキュリティ対策 - 物理的・環境的セキュリティ対策 - 技術的セキュリティ対策 - セキュリティポリシー - 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS) - インターネットのしくみとセキュリティの基本 - IPアドレス - ポート番号 - ドメイン - サーバ・クライアント型システム - 不正アクセス対策 - コンピュータウイルス対策 - スパイウェア対策 - ネットワークセキュリティ - パケットフィルタリング - Proxyサーバ - アドレス変換 - ファイアウォール - IDS/IPS - ホストセキュリティ(サーバ) - セキュリティパッチの適用 - サービス管理(Webサーバ/Mailサーバ/DNSサーバ) - ログ管理 - 脆弱性監査 - ホストセキュリティ(クライアント) - セキュリティパッチの適用 - Webブラウザのセキュリティ - 電子メールのセキュリティ - 暗号と認証 - 暗号化のしくみ - 認証システム	
●到達目標		- 情報セキュリティの必要性について理解できる - ネットワークからの不正侵入のしくみが理解できる - 情報システムに対する脅威への対策が理解できる			

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:基盤

104 仕事に役立つデータ分析 ～統計分析の基礎から実践編までを学ぶ～				FISA 2 NEW	
実施日	11/11～11/12	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2		1. はじめに (1)データ分析の目的と手法 ・勤や経験に依拠しない合理的な意思決定とは (2)データ分析と統計 ・分析プロセスや分析結果を見るにおいて必要となる統計的知識 2. 統計分析の基本 (1)データの種類 ・数量データとカテゴリーデータ (2)数量データの分析 ・平均値、標準偏差、信頼区間、偏差値、ヒストグラム (3)カテゴリーデータの分析 ・度数集計、クロス集計、信頼区間、ピボットグラフ (4)検定 ・集計結果は統計的に有意であると言えるのか？誤差の範囲か？ ・t検定、χ ² 乗検定 3. 相関と回帰分析 (1)相関分析 ・2変数間の関係性を散布図で確認する ・相関係数を算出する (2)回帰分析 ・売上の予測モデルをつくる ・残業時間が増える要因を明らかにする ・品質評価に影響を与える要因を明らかにする 4. CUBEによる売上分析 (1)多元的分析のためのデータモデル作成 ・パワークエリでディメンジョンとメジャーを設定する (2)パワビポットを用いた多次元(CUBE)分析 ・期間、店舗、商品の売上集計 ・販売指標(客数、客単価、収益性、成長性)の算出 (3)トレンド分析 ・目先にとらわれずに大きな流れ(底流)に着目する 5. 顧客の分類 (1)ABC分析による優良顧客の抽出 ・売上データから顧客を3ランクに分類する (2)RFM分析によるターゲットセグメンテーション ・売上データから営業目的別にターゲットを抽出する			
●カリキュラムの概要					
ビジネスにITシステムは欠かせませんが、昨今ではそこに蓄積されたデータの活用が雌雄を決するといっても過言ではありません。そこで本セミナーでは、データ分析を行う上で基本となる統計の基礎知識から実践的手法までを学習します。 難しい理論や数式は使わず、エクセル演習を通じてわかりやすい内容になっていますので、初学者の方でも大丈夫です。					
●到達目標					
1. 与えられたデータと要件から、適切な分析手法を選択することができる 2. 複数のデータ間の関係性を探り、影響要因となるデータを使ってトレンドの把握や予測を行うことができる					

105 ネットワークセキュリティ応用				NEW	
実施日	12/13～12/14	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2		◎オリエンテーション 1. プロファイリング (1)プロファイリングの基礎 (2)プロファイリング技術 (3)プロファイリング実践【演習】 2. 侵入 (1)パスワードの取得 (2)パスワード攻撃の実践と対策【実習】 (3)バッファオーバーフロー攻撃と対策【実習】 (4)rootkit 3. DoS (1)DoS攻撃手法【講義&実習】 (2)DoS攻撃の検知と対策 4. 侵入調査 (1)Linux (2)Windows 5. 不正アクセスに備える 6. ウィルス (1)ウィルスの種類 (2)ウィルス対策 (3)感染後の対応 ◎総まとめ			
●カリキュラムの概要					
不正アクセス攻撃の仕組みを体験し、その技術的背景を踏み込んで理解し、脅威について適切な理解をするともに、対策方法とその限界、さらに被害にあった場合の対処方法について学習します。 また、コンピュータウィルスの種類と被害の範囲、そして対策方法と適用範囲、今後の動向について学習します。					
●到達目標					
1. プロファイリングが独りでできる 2. 侵入対策がわかる 3. 不正アクセス対策が打てる					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:基盤

106 《オンライン研修》ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」				FISA 3 オンライン	
実施日	2/1～2/2	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2		1. 情報セキュリティの概要 ・情報セキュリティの目的 ・情報セキュリティの定義 ・情報セキュリティの重要性について 2. セキュリティインシデントの現状 ・セキュリティインシデントとは ・セキュリティインシデント事例 ・攻撃と対策の最新動向 3. 情報セキュリティ対策の概要 ・人的・管理的セキュリティ対策 ・物理的・環境的セキュリティ対策 ・技術的セキュリティ対策 ・セキュリティポリシー ・情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS) 4. インターネットのしくみとセキュリティの基本 ・IPアドレス ・ポート番号 ・ドメイン ・サーバ・クライアント型システム ・不正アクセス対策 ・コンピュータウイルス対策 ・スパイウェア対策 5. ネットワークセキュリティ ・パケットフィルタリング ・Proxyサーバ ・アドレス変換 ・ファイアウォール ・IDS/IPS 6. ホストセキュリティ(サーバ) ・セキュリティパッチの適用 ・サービス管理(Webサーバ/Mailサーバ/DNSサーバ) ・ログ管理 ・脆弱性監査 7. ホストセキュリティ(クライアント) ・セキュリティパッチの適用 ・Webブラウザのセキュリティ ・電子メールのセキュリティ 8. 暗号と認証 ・暗号化のしくみ ・認証システム			
●カリキュラムの概要					
「セキュリティ」は専門家だけのものではなく、インターネットに接続する人であれば誰でも意識しておくべきです。本講座では、情報システムのセキュリティを実施、維持するためのセキュリティ技術について習得します。 ※同一内容の講座を集合研修(講座No.103)でも実施します。					
●到達目標					
1. 情報セキュリティの必要性について理解できる 2. ネットワークからの不正侵入のしくみが理解できる 3. 情報システムに対する脅威への対策が理解できる					

IT技術コース:アプリケーション

107 Pythonによる機械学習入門				FISA 4	
実施日	7/12～7/13	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-3		◎オリエンテーション 1. 機械学習とディープラーニング (1)機械学習とは ・機械学習の分類 ・機械学習の流れ ・教師あり/教師なし学習のアルゴリズム (2)ディープラーニングとは ・ニューラルネットワーク ・パーセプトロン 2. 環境 (1)Anacondaインストール (2)Anaconda使い方 3. Python基礎 (1)宣言とコメント (2)データ型 (3)演算子 (4)制御文 (5)関数 (6)その他文法 (7)ファイル入出力 (8)NumPyモジュール (9)Pandasモジュール (10)JupyterNotebookの使い方 (11)matplotlibモジュール (12)機械学習用データの準備 4. scikit-learnによる機械学習 (1)scikit-learnとは (2)回帰分析 (3)教師あり学習(k近傍法、パーセプトロン) (4)ロジスティック回帰 (5)サポートベクターマシン (6)ニューラルネットワーク (7)教師なし学習 5. 機械学習システムの構築演習 ◎総まとめ			
●カリキュラムの概要					
第4次産業革命の主役の一つであるAIについて、そのキーワードである機械学習とディープラーニングの基礎をPython言語を使いながら学習します。Scikit-Learnを使って機械学習とはどんなものかを体験する研修です。					
●到達目標					
1. 機械学習とは何か、ディープラーニングとは何かを説明できるようになる 2. Pythonでの環境設定と簡単な文法を習得する 3. scikit-learnの使用を体験する					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

108 Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで～						FISA 5
実施日	8/30～9/1	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	69,300円(会 員) 77,000円(非会員)	
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-4			●カリキュラムの詳細 1. クラスとインスタンス ・クラス構成要素(Eclipseを使用) 2. staticとは ・クラス付メソッド、フィールド ・インスタンス付との違い 3. UMLとは ・UMLとは何か ・クラス図の書き方(astahツールを使用) 4. カプセル化とJavaBeans ・public ・private ・protected ・セッター・ゲッターを付ける理由 5. 継承、インターフェース ・継承 ・インターフェース 6. ポリモーフィズムを理解する ・ポリモーフィズムとは何か 7. デザインパターン ・シングルトン ・テンプレートメソッド ・アダプター等			
●カリキュラムの概要 オブジェクト指向言語なら共通して使える設計思想であるデザインパターンのうち、主要な5個ほどを実際にJavaコーディングして身につけます。デザインパターンを説明する際に使用するUMLクラス図なども基礎から学びます。利用するツールEclipseについて経験のないC#、C++技術者でも受講可能です。						
●到達目標 1. オブジェクト指向と主要なデザインパターンを、設計の用途に合わせて使用できる						

109 ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習						
実施日	9/7～9/8	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円	
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-3			●カリキュラムの詳細 1. Python入門 ・データ分析の考え方 ・Pythonのプロプログラミング基礎 2. Pythonデータ分析基礎 ・Pythonによるデータの操作 ・グラフによる可視化 ・演習問題 3. Pythonによる主要な解析手法(原因と結果のない分析) ・主成分分析、コレスポンデンス分析、クラスター分析 ・演習問題 4. Pythonによる主要な解析手法(原因と結果のある分析) ・回帰分析、因子分析、アソシエーション分析、決定木分析、ランダムフォレスト ・演習問題 5. ビジネスの現場で使えるデータ分析演習 ・需要予測分析演習(重回帰分析、ランダムフォレスト) 6. その他のデータ分析手法 ・時系列分析 ・線形計画法(最適化問題) ・オープンデータ活用			
●カリキュラムの概要 本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、Pythonのプログラミング基礎からPythonによる主要なデータ分析手法を学びます。さらには、学んだデータ分析手法を駆使したデータ分析演習と豊富な実例を通して、ビジネスの現場で使えるデータ分析を学びます。 本講座受講後、実践編として講座No.111「ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習(実践編)」の受講をお勧めします。						
●到達目標 1. Pythonのプログラミング基礎を習得すること 2. 様々な分析手法を駆使したデータ分析を行えること						

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

110 SQL ～テーブル結合の基本からパフォーマンスチューニングまで～

実施日	9/29～10/1	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	77,000円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		初歩的なselect文は書けるプログラマーに、テーブル結合やサブクエリ等一歩進んだSQL文を体系立てて習得していただく。その際DBMS内部でどのようなアルゴリズムでSQL文が実行されているか見る手段、またそのアルゴリズムが高速になるように仕向ける手段(パフォーマンスチューニング)も習得する。他にも、ビュー、トリガー、トランザクションといったDBを構成する要素を知り、テーブルの正規化も学び、設計～SQL実装までDBについて一通りの知識を有するSEになる。		- SQLのおさらいwhere句とは、group by～having句とは、order by句とは - 易しいが落とし穴もあるwhere句(ANDとORの優先順位、NULL比較) - group byは集計関数と共に初学者同様学習する - パフォーマンスチューニングの入り口～Indexとは、Indexの使用 - indexとは何かを知り試してみる。Indexを高速に保つB木を知る - カーディナリや選択率によっては低速になるケースを知る - 少し難しいSQL文の学習～テーブル結合するinner join、left join等 - 内部結合(inner join～on) 外部結合(left/right join～on)を中心とする - 実行計画の見方、統計情報とは、テーブル結合で使われるアルゴリズムを習得 - パフォーマンスチューニングの土台となる知識(実行計画とは、統計情報とは、実行計画の閲覧方法、テーブル結合のNested Loops、Hash、Sort Merge等)を知る - ビューとは～内部的にテーブル結合を使うビューの実装 - ビューを学習しながら、前日の内部結合、外部結合の違いやアルゴリズムによるパフォーマンスの良しあしを復習する - ウィンドウ関数(分析関数)を知る、SQL文法の大枠をつかむ方法 - unionとは何かを知ってSQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも) - パフォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する - サブクエリその1、副問い合わせ(サブクエリ)とは～実装して習得する - 最も簡単なスカラーサブクエリから始めることで、最難関SQLも一から習得できる - unionとは～SQL実装、unionのパフォーマンスとその代替 - unionとは何かを知り、SQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも) - パフォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する - サブクエリその2、副問い合わせの中でも難しい相関サブクエリを習得 - 相関サブクエリと通常のサブクエリの違いを知る - EXISTS、NOT EXISTSを使用してみる - ウィンドウ関数(分析関数)を知りサブクエリやテーブル結合を多用しない - SQLのパフォーマンス演習 →SQL文にループ構文がない理由を知る。 - 最悪のプログラム側でのループを紹介 - GROUP BY句やウィンドウ関数(分析関数)の活用 - SEとしてパフォーマンス悪化を説明する演習 - テーブル設計の肝、正規化とは～正規化演習。 - トリガー、トランザクションも知ってDB知識の抜けをなくす - パフォーマンスチューニング以外で、SEならば知っておきたい知識を網羅する - 特に大事なテーブル設計と正規化は改めて主キー、外部キーなども学び、正規化演習も行う	
●到達目標		- サブクエリ(副問い合わせ)などSQL文を実装でき、SQLパフォーマンスを考慮できる - 上流工程から、SQLパフォーマンスを見越して事前に布石を打つ設計をしたり、意見を述べられる			

111 ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習(実践編)

NEW

実施日	10/12～10/13	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		PCを用いたハンズオン研修です。本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、より実践的な複数の事例のデータ分析を演習により学びます。演習では、データ分析コンテストサイト「Kaggle」から取得した実際のデータを用いて分析を行います。現実のデータに基づいた実践的なデータ分析を体験することで、ビジネスの現場で活用できるデータ分析力を身に付けます。本講座は、講座No.109「ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習」を受講済みの方、及び、講座No.109のカリキュラムに沿ったスキルを習得済みの方のみご受講頂けます。		- データ分析の流れ - データ分析の考え方 - 目標設定、仮説立案 - グラフの種類と活用方法 - 売上データ分析【演習】 ◆演習問題 - 使用するデータ: 食料品購入アプリの売上データ - 分析内容: どんな商品がリピート購入につながり易いか - 顧客満足度分析【演習】 ◆演習問題 - 使用するデータ: 航空会社の顧客満足度調査データ - 分析内容: どの項目が満足度に影響を与えているか - ダイレクトメール反応分析【演習】 ◆演習問題 - 使用するデータ: ダイレクトメールの送信結果データ - 分析内容: もっとも反応のよくなる属性は何か	
●到達目標		- Pythonのプログラミング基礎を習得すること - 様々な分析手法を駆使したデータ分析を行えること			

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

112 Pythonで学ぶ機械学習

実施日	11/16～11/17	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 3-4		●カリキュラムの詳細 1. AIと機械学習の基礎 ・AIと機械学習とは ・機械学習で出来ること、出来ないこと ・教師あり学習/教師なし学習/強化学習 ・機械学習の流れ 2. Python基礎 ・Pythonプログラミング基礎 ・Pythonによるデータ操作 ・グラフによる可視化 3. 教師あり学習 ・教師あり学習の概要 ・k-最近傍法 ・線形モデル(線形回帰、リッジ回帰) ・決定木 ・ランダムフォレスト ・勾配ブースティング ・サポートベクターマシン(SVM) ・ニューラルネットワーク(ディープラーニング) 4. 教師なし学習 ・教師なし学習の概要 ・主成分分析(PCA) ・非負値行列因子分解(NMF) ・多様体学習(t-SNE) ・クラスタリング(k-means、凝集型、階層型、DBSCAN) 5. クラウドサービス活用 ・クラウドサービス概要 ・クラウド機械学習サービス(AWS)			
●カリキュラムの概要 本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、主要な機械学習手法を一通り学びます。これから機械学習やAIに取り組みたいと思っている方に最適な機械学習入門講座です。 ※同一内容の講座をオンライン形式(講座No.116)でも実施します。					
●到達目標 1. Pythonのプログラミング基礎を習得すること 2. Pythonによる様々な機械分析手法の概要を理解すること					

113 KerasによるAIモデルの構築手法

FISA 6

実施日	11/30～12/1	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細 1. AIの歴史 ・カリキュラムの概要説明 ・人工知能の歴史について 2. 機械学習について ・アルゴリズムの分類 ・パーセプトロン ・ニューラルネットワークの学習 ・機械学習の種類 3. 今どきのAI開発 ・AI開発のトレンドについて 4. 開発環境確認 ・環境構築手順の確認 5. MNIST について/ RNNを使った機械学習について ・MNISTとは ・階層型NNを使った機械学習 ・MNISTデータの準備 ・入力データと出力データの成形 ・学習の実行と結果確認 6. Keras フレームワークによる高速化/ CNNを使った機械学習 ・Kerasとは ・CNNを使った機械学習について ・入力データと出力データの成形 ・学習の実行と結果確認 7. CNNを使った手書き文字認識 ・手書き文字作成 ・認識用プログラムの解説 ・学習の実行と結果確認 8. CAEを使ったノイズキャンセラー ・オートエンコーダ ・CNNでオートエンコーダ ・データの準備 ・議事ノイズデータ作成 ・CAE構築 ・学習の実行と結果確認 9. 自前データの学習(RNNで気温予測) ・入力データと出力データの成形 ・学習の実行と結果確認 ・実行結果についての解説			
●カリキュラムの概要 AI開発における標準的なフレームワークであるKerasを使って、典型的な機械学習モデルの構築を行います。当該カリキュラムにおいては、具体的なサンプルとしてMNISTを使った手書き文字認識を例にとりながらAI開発におけるKerasフレームワークの使い方を主に学びます。					
●到達目標 1. RNNおよびCNNの概要を理解し、学習対象に応じて適切なモデルの選択ができる 2. CAEの概要を理解し、適切に学習を行わせることができる					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

114 IT技術者のためのRPA入門

実施日	12/2～12/3	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		今、注目されているRPA (Robotic Process Automation) がどのような業務で活用されているのか、具体的な導入事例の解説により、対象となる業務プロセスのイメージを広げていきます。さらに、実際の業務適用を検討することにより、PRA導入検討時のポイントを学習します。		1. RPAの概要【講義】 (1)RPAとは何か／何が出来るのか (2)RPAの沿革とその進化 (3)RPAの市場動向 (4)働き方改革とPRA 2. 周辺技術との類似点と相違点【講義】 (1)RPAとVBA (2)RPAとRDA (3)RPAとAI 3. RPAの導入事例【講義】 (1)オフィス内事務処理の効率化事例 (2)営業・顧客管理での活用事例 (3)システム運用での活用事例 4. 代表的なRPAツール【講義・演習】 (1)RPAツールの分類／PC型・サーバー型・クラウド型 (2)RPAツールの一覧とその特徴比較 (3)WinActor／BizRobo!／RPAフリー版・トライアル版など 5. RPAの業務への適用検討【講義・演習】 (1)対象業務を選択する (2)対象業務の自動化を検討する (3)インプットとアウトプットを考える (4)シナリオ開発と確認 ※上記について以下の流れで運営 個人検討→グループワーク→クラス共有 6. RPA導入に向けたコンサルティングの視点【講義】 (1)業務プロセスを捉える視点 (2)業務間の連携による合理化の視点 (3)新たな付加価値を創り出す視点 7. RPAの今後の進化予測【講義】 (1)AIとの連携 (2)ARとの連携 など ◎質疑応答／総まとめ	
●到達目標		1. RPAを取り巻く動向とその特徴を説明できる 2. RPAの技術と効果について説明できる 3. RPA導入の検討と支援ができる			

115 PHPによるWebアプリケーション開発

実施日	12/6～12/8	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	77,000円
●講座情報詳細		時間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		PHP 7 の基本構文からクライアント・サーバー間のデータの受け渡し、データベース連携、オブジェクト指向プログラミング、そしてセキュリティ対策まで、PHPでのWebアプリケーション開発に必要な一連のスキルを、講義と演習を通して習得して頂きます。		1. PHP概要 ・PHPとWebアプリケーション／開発環境について 2. PHPの基本 ・PHPの基本構文／変数／定数／データ型／配列／型変換 3. 演算子 ・代入演算子／比較演算子／論理演算子／その他の演算子／演算子の優先順位と結合則 4. 制御構文 ・条件分岐／繰り返し／ループの制御 5. 組み込み関数 ・関数の基本／文字列関数／配列関数／正規表現関数／ファイルシステム関数／その他の関数 6. ユーザー定義関数 ・ユーザー定義関数／変数の有効範囲／引数の記法／関数呼び出しと戻り値／ジェネレータ 7. 標準クラスライブラリ ・オブジェクト指向プログラミングの基本／DateTimeクラス／DirectoryIteratorクラス／外部ライブラリについて 8. リクエスト情報 ・リクエスト情報／ポストデータ／クエリ情報／ヘッダ情報／サーバ環境変数／クッキー情報／セッション情報／アップロード処理の実装 9. データベース連携 ・データベースの基本操作／データベースへの接続／SQLクエリの発行／結果セットの取得／パラメータ値のバインド／トランザクション処理 10. オブジェクト指向構文 ・クラスの定義／カプセル化／継承／ポリモーフィズム／トレイト／オブジェクトの操作／例外処理／マジックメソッド／名前空間／クラスの自動ローディングについて 11. セキュリティ対策 ・クロスサイトスクリプティング／SQLインジェクション／クロスサイトリクエストフォージェリー／その他の攻撃と予防策	
●到達目標		1. PHP での基本的なプログラミングができる 2. PHP でのクライアント・サーバー間のデータの受け渡し方法を理解する 3. PHPアプリケーションとデータベースの連携方法を理解する 4. PHP でのWebアプリケーション開発時に留意するセキュリティ対策を理解する			

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

116 《オンライン研修》Pythonで学ぶ機械学習					FISA 7 オンライン
実施日	2/8～2/10	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	69,300円(会 員) 77,000円(非会員)
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 3-4		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、主要な機械学習手法を一通り学びます。これから機械学習やAIに取り組みたいと思っている方に最適な機械学習入門講座です。 ※同一内容の講座を集合研修(講座No.112)でも実施します。		- AIと機械学習の基礎 - AIと機械学習とは - 機械学習で出来ること、出来ないこと - 教師あり学習/教師なし学習/強化学習 - 機械学習の流れ - Python基礎 - Pythonプログラミング基礎 - Pythonによるデータ操作 - グラフによる可視化 - 教師あり学習 - 教師あり学習の概要 - k-最近傍法 - 線形モデル(線形回帰、リッジ回帰) - 決定木 - ランダムフォレスト - 勾配ブースティング - サポートベクターマシン(SVM) - ニューラルネットワーク(ディープラーニング) - 教師なし学習 - 教師なし学習の概要 - 主成分分析(PCA) - 非負値行列因子分解(NMF) - 多様体学習(t-SNE) - クラスタリング(k-means、凝集型、階層型、DBSCAN) - クラウドサービス活用 - クラウドサービス概要 - クラウド機械学習サービス(AWS)	
●到達目標		- Pythonのプログラミング基礎を習得すること - Pythonによる様々な機械分析手法の概要を理解すること			

ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス

117 生産性を上げるタイムマネジメント					
実施日	8/19	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	31,900円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 6時間		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		昨今の厳しい経済環境下、限られた人員と時間、資源の中で高い生産性を出すことを求められています。重要な事柄にフォーカスするためには、何を判断軸にどのような行動を選択するのかにかかっています。効率的に業務を進めていくためのタイムマネジメントスキルを学び、「プロセス」「時間の使い方」「コミュニケーション」など、自部署や個々のメンバーの課題と改善策を明らかにし、具体的な行動の計画と実践を促進します。		- タイムマネジメントが必要な理由 「働き方改革」に求められる生産性向上とは 「長時間労働」から「効率的業務」へ - 事例:なぜ時間が足りないのか - 自身の仕事の洗い出し【演習】 - タイムマネジメントの基本 - 仕事に優先順位を付ける - やらないことを決める【演習】 - 消費時間分析による問題発見【演習】 - インプット対アウトプット～所要時間の見積り - プロセスの改善 - プランニングとスケジュールリングで設計する - 自分で完結する業務と他者に依頼する業務を調整 - プロジェクトでのチェック項目【演習】 - ガントチャートの作成とクリティカルパスの短縮化【演習】 - チーム内コミュニケーション - 情報が共有できるチームへ - 会議を変える【演習】 - コミュニケーションの三原則UPA(理解・提案・合意) - 中断や妨害対策・他者への依頼 - まとめ - 自己改善プランの作成【演習】	
●到達目標		- 業務の効率化・スピード化を促進し、生産性を向上するタイムマネジメントの基礎を学ぶ - 自身の仕事の洗い出しを行い、日々の時間の使い方の傾向を把握する - タイムマネジメントの具体的な時間管理の考え方と進め方を身につける			

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス

118 顧客の心をつかむITソリューション提案の実践

実施日	10/5～10/6	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション【講義】 1. IT提案で考えるポイント【講義】 (1)IT提案とは (2)IT提案のスタイル 2. 仮説検証型提案のアプローチの全体像【講義】 (1)提案の付加価値を高める (2)「付加価値を高める提案アプローチ」 3. [アプローチ①]提案活動のキッカケ【講義・演習】 (1)キッカケにいかにかにアンテナをはるか (2)「RFPから提案を作るには」 4. [アプローチ②]顧客情報の収集・分析 (1)情報収集の方向性 (2)顧客情報の収集 (3)収集した情報を分析する (4)よくある情報化の課題を知る 5. [アプローチ③]仮説を立てる【講義】 (1)SWOT分析から仮説を導き出す (2)収集と発散で仮説を作る 6. 仮説構築演習【演習】 事例問題に従い、RFP等から情報を収集し提案の仮説を構築する 7. [アプローチ④]顧客訪問【講義・演習】 (1)ヒアリングに関する準備 (2)ヒアリングの実施手順 (3)コミュニケーションを考える 8. [アプローチ⑤]顧客ニーズの確定【講義】 (1)ヒアリング結果で仮説を検証 (2)経営を変える情報活用手法 (3)論理的に話を組み立てる 9. [アプローチ⑥]提案骨子の作成【講義】 (1)提案骨子で決めること (2)提案書の作成へ (3)提案骨子作成演習【演習】 ◎総まとめ【講義】			
●カリキュラムの概要 顧客の真のニーズを見つけ出し、顧客の心をつかむITソリューションを提示する方法を学習します。 「顧客に関する情報収集の仕方」、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示」といったスキルを習得します。 仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付けます。 ※提案書をフルセットで作成する研修ではありません。					
●到達目標 1. 仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付ける					

ビジネススキルコース:問題解決・思考方法

119 信頼されるSEに求められる問題解決力

FISA 8

実施日	8/23～8/25	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	69,300円(会 員) 77,000円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション【講義】 1. 講座の狙い【講義】 2. 問題とは【講義】 ～問題がないことは問題か?～ ～2種類の問題とは?～ 3. ファシリテーションとは?【演習】 ～ファシリテーターの4つの役割～ 4. 問題解決の全体像【演習】 ～問題解決のステップとは?～ 5. テーマ選択【演習】 ～選択基準の鉄則とは?～ 6. 現状把握【演習】 ～現状把握に役立つツール～ 7. 目標設定【演習】 ～目的と目標はどう違う?～ 8. 要因解析【講義】 ～要因解析に役立つツール～ 9. 要因解析 ケース解説【演習】 ・個人作業→グループディスカッション ・要因解析を受けて発表【演習】 10. 対策立案【講義】 ～ロジックツリーの使い方とは?～ ～対策立案に役立つ9つの質問～ 11. 対策立案のケース解説【演習】 ・個人作業→グループディスカッション 12. 効果の確認【講義】 ・効果の確認 ・再発防止と課題 ・歯止め策 ・今後の進め方 13. A3用紙1枚へのまとめ方【演習】 ・コンテストによる最優秀者の選出 ・他者フィードバック ・講師フィードバック ◎総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要 某自動車メーカーで使われる問題解決のスキル、すなわち、問題発見、真因追求、解決策立案のスキルとそれらをA3一枚にまとめて、ストーリー立てた説明により周囲を動かすスキルを理論と実践を通じて身につけます。 問題解決でも、“モノ”の問題と“人や組織”の問題では扱い方が違います。本研修ではIT現場に多い人や組織の問題を主として扱います。 参加者自身の問題・課題を扱いながらグループディスカッションを繰り返すことによりファシリテーション能力を向上させるとともに、他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。					
●到達目標 1. 問題の発生を未然に予測し、行動することができる 2. 問題が発生した場合でも、問題を冷静に分析し、効果的な対策が打ち出せる 3. 対策の効果とそのコストをA3用紙1枚で説明し、関係者が納得できる現実的な対策を提案できる					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:問題解決・思考方法

120 アイデアの発想展開法					FISA 9 NEW
実施日	9/2～9/3	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション【講義】 1. アイデアを出すとはどういうことか【講義】 (1) アイデアを出すとはどういうこと? (2) アイデア発想法を俯瞰する 2. 必要な情報を収集する【講義】 (1) 自分で情報に気付いて収集する (2) 誰かから情報を提供してもらう 3. 発想を展開してアイデアを拡げる【演習】 (1) 自由発想法 ・ブレインストーミング ・ブレインライティング ・マインドマップ (2) 強制発想法 ・マンダラ ・オズボーンのチェックリスト ・SCAMPER法 (3) 類似発想法 ・シネクティクス法 ・NM法 4. 論理的に情報を整理する 【講義・演習】 (1) 情報をグループでまとめるには (2) ロジックツリーと問題解決 (3) 論理ピラミッドで情報を整理 5. 結論に向けて発想の収束を行う【講義・演習】 (1) 結論への収束を助けるKJ法 (2) 図解を利用して考えをまとめる (3) フレームワークを活用して収束 6. 総合演習【演習】 ◎総まとめ 【講義】			
●カリキュラムの概要 ビジネスでは企画、提案、改善など自らの頭をひねってアイデアを出さないとけない場面が多々あります。しかし、ただ頭をひねっていてもアイデアはなかなか出てこないことが多いです。アイデアをひねり出すには様々なツールがあります。そのツールを体験しながら、自分のアイデアをまとめるにはどうしたらよいかを考えます。アイデアを出す(ブレインストーミング、マインドマップなど)、アイデアをまとめる(KJ法、図解など)を伝えます。					
●到達目標 1. アイデアを出すためのツールを使用できる 2. アイデアをまとめる(整理する)ためのツールを使用することができる					

121 システム開発におけるレビュー技法 ～ミーティング時間の短縮とより重大な欠陥を見つけるために～					
実施日	10/7～10/8	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション 【講義】 1. システム開発の現状とレビューの関係 【講義・演習】 2. システム開発の「見える化」とレビュー【講義】 3. プロセスレビューでの「見える化」ポイント【講義・演習】 4. プロダクトレビューポイント実施における 【講義】 5. レビュー技法の種類と概要 【講義】 6. レビューの実施手法の5つの原則【講義】 7. レビューを行う上で留意すること【講義・演習】 8. レビューに関する課題ディスカッション【演習】 9. インспекションの概要【講義】 10. インспекションプロセス 【講義・演習】 (1) 計画 (2) 概要説明 (3) 準備 (4) ミーティング (5) 修正、フォローアップ 11. インспекションデータの分析・評価 【講義】 12. レビュー促進するには【講義】 13. 自分たちに合ったレビュー技法を考える【演習】 ◎総まとめ 【講義】			
●カリキュラムの概要 プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術(レビューの心得、レビューの進め方など)を学習します。 1日目の目標は「レビューの視点を知る」ということで、様々なレビューの種類を学び、どのような視点でレビューを行うかを学びます。 2日目の目標は「レビューの技法を知る」ということで、インспекションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの仕方を学びます。 よりレビュー効果の高い、上流工程におけるレビューを意識したカリキュラムになっています。					
●到達目標 1. 様々なレビューの種類の違い、どのような視点でレビューを行うかの視点を習得する 2. インспекションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの技法を習得する					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

122 失敗しないプロジェクトのための段取り力 ～プロジェクトの立上げと計画立案のために～					
実施日	9/9～9/10	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション【講義】 ・ノーミング・セッション 1. プロジェクトマネジメントとは？【講義】 2. 日本人の得意な段取りについて【講義】 3. PMBOKの解説【講義／演習】 (1)「10の知識エリア」の実例 (2)PMBOK第7版の概要 (3)なぜ、プロジェクトは失敗するのか？ 4. プロジェクトの目的と目標【演習】 (1)プロジェクトの目的の確認 (2)プロジェクト目標の確認・(3)各プロジェクト発表 5. 段階的詳細化について【演習】 (1)WBSとは (2)なぜ、WBSを作るのか？ (3)WBS作成演習 (4)他者に仕事を割り当てるときの極意 (5)メンバーの参画意欲を高めつつ正確な期間・工数の見積もりをする方法 6. ネットワーク図【演習】 (1)ネットワーク図とは (2)ネットワーク図の作成 (3)納期短縮法 (4)バッファの扱い方 (5)資源平準化 7. リスクマネジメント【演習】 (1)2種類のリスク (2)リスクの察知能力を高める (3)どのリスクを対策すべきか？ (4)リスクを見込んでさらに強い計画を立てる ・全体発表と講師講評 8. 段取り力向上「5つの習慣」【講義】 ◎総まとめ ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要 成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？ 本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。 プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードであるPMBOKも参考にしつつITプロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクトマネジャーとしての基本を学びます。 同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。グローバルスタンダードな資格である米国PMI認定のPMP資格を維持するための学習時間(60時間)のうち12時間分を取得できます。(カテゴリB) また、2020年に変更される予定のPMBOK第7版にも触れていきます。					
●到達目標 1. プロジェクトマネジメントにおける主要な計画が独力で立てられる 2. 資源制約を考えたスケジュール計画が独力で立てられる 3. 工数・期間をメンバーの協力の下、見積もることができる					

123 ショートケースメソッドによるオンラインITプロジェクトマネジメントの リスク予防・予知トレーニング					NEW
実施日	10/14～10/15	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 1. DX時代のプロジェクトマネジメント ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆オンラインでのプロジェクトマネジメント ◆ITプロジェクトのリスクとは ◆リスクと問題の関係 2. オンラインのリスクマネジメント ◆オンライン・オフラインのファシリテーターのちがいが ◆ステークホルダ分析 ～ 人がリスクとなる ◆リスク分析を反映したプロジェクト計画 【ショートケース】キックオフ前のケース 3. リスクと問題のマネジメント ◆リスクと問題の関係 ◆リスクドライバーの洗い出しと分析・評価 ◆炎上を起こすステークホルダの分析 ◆「打ち手」のレビューポイント ～しこりを残さないために 【ショートケース】 炎上寸前のケース			
●カリキュラムの概要 ショートケースの分析を通じて、リスクの予知、リスクのアンテナを張って、未然にそのリスクをキャッチして手を打つスキルが習得できます。リスク、「炎上」寸前のリスクの状況や要因を的確にとらえ、適切に「打ち手」を考慮するスキル、その「打ち手」が実現可能であることをレビューするスキルを習得できます。 PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新C CRプログラム」に対応しています。 教育サブ・カテゴリ: technical 4.0 Leadership 5.0 Business and Strategic 5.0					
●到達目標 1. プロジェクト計画において、リスク分析を考慮したプロジェクト計画が作成できること 2. プロジェクト実行時に、リスクを先読みし、必要な打ち手を打つプランができること					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

124 デジタル時代の変化に対応するプロジェクトマネジメント ～PMBOKとアジャイルのイイトコ取り～					NEW
実施日	12/9～12/10	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 1. DX時代のITサービス 2. DX時代のプロジェクトマネジメント ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆オンラインでのプロジェクトマネジメント ◆DX時代のプロジェクトマネジメント～ PMBOKの動向 3. アジャイルプロジェクトの進め方 (PMBOKの誤解・アジャイルの誤解) ◆アジャイルプロジェクトとは ◆アジャイル・プロジェクトマネジメント ～ scrum ◆経営層から見えるプロジェクト ～ デザイン思考 4. 状況に応じたイイトコ取り ◆アジャイルプロジェクトの進め方 ◆アジャイルプロジェクトにおける見積 【ワークショップ】プランニング・ボーカー タスクかんばん ・バーンダウンチャートなど ●まとめ			
●カリキュラムの概要 システム開発のスピードが速くなり、クラウドサービスの開発を含め、いまや「変化への対応」を要求される時代です。したがってそのプロジェクトマネジメントが成功の鍵を握っています。そこで、既存のウォーターフォールとPMBOKという枠にとらわれず、必要に応じてアジャイルプロジェクトのエッセンスを取り入れ、自らがベストなアイデアでプロジェクトを推進するスキルを習得していただくコースです。 PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新C CRプログラム」に対応しています。 教育サブ・カテゴリー: technical 4.0 Leadership 6.0 Business and Strategic 4.0					
●到達目標 1. 自分たちなりに考える、アジャイルなメンバーとなり、PMBOK、アジャイルプロジェクトの特徴を理解し、自分でそれぞれのよいところを採用して、プロジェクト計画を立案することができるようになる					

125 失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ～プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する～					
実施日	12/15～12/17	日数	3日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	77,000円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション (1)ノーミング・セッション (2)グラウンド・ルール作り 1. プロジェクト・マネジメントとは【演習】 2. ファシリテーションとは【講義】 (1)ファシリテーションの2つの目的 (2)みんなの意見は案外正しい 3. 日本人の苦手なリスク・マネジメント【講義】 (1)なぜ、日本人はリスク音痴(?)に? (2)リスクを取らないとどうなるか? 4. EVMIによるコントロール【演習】 (1)成功の鍵は定量管理 (2)基本用語と計算方法の確認 (3)練習問題 (4)将来予測による先読み 5. リスク・マネジメントとは?【演習】 (1)リスクとは? (2)リスク管理の4ステップ (3)リスクの優先順位付け (4)2つのリスク対策 6. リスク・マネジメントゲーム①【演習】 (1)要求定義フェーズ (2)結合テストフェーズ ・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 7. リスク登録簿を持ち帰る【演習】 (1)リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS簡易版・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 8. 先読み力向上「5つの習慣」【講義】 ◎総まとめ ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要 成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいの? 本研修では、その答えの一つとして『リスク・マネジメント』を取り上げます。 実例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。 また研修参加者にはファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。 グローバルスタンダードな資格である米国PMI認定のPMP資格を維持するための学習時間(60時間)のうち21時間分を取得できます。(カテゴリB)					
●到達目標 1. 独力でリスク管理表が作成できる 2. 独力で公共案件では必須となりつつあるEVMを使った進捗管理ができる 3. リスク対策を一人5つ以上、現場の仕事に持ち帰る					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

126 テレワーク時代のはじめての業務の見える化(要件定義)入門					FISA 10 NEW
実施日	1/13～1/14	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		このコロナ禍でデジタルトランスフォーメーション(DX)といわれる時代となり、テレワークにシフトする、といわれながら、実際には、紙やハンコをなくすということに注目が集まっています。かといってRPA、ローコードというキーワードだけ先行して、後で苦労することも少なくありません。そこで実際の業務のどこをどのようにオンライン化するのか、できるのか、やり方をどのように変えていくのか、その場合の注意点は何か、を分析します。業務上の生産性を下げることなくシフトするための進め方を習得していただくコースです。 PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新C CRプログラム」に対応しています。 教育サブ・カテゴリー: technical 3.0 Leadership 5.0 Business and Strategic 6.0		0. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代のビジネス価値を考える 1. テレワーク時代の仕事 ・ビジネスモデルの変化とワークシフト ・ビジネス上の価値をビジネス全体から考える(事例)電子契約、通帳の取込 など 2. 業務の見える化する、とは ・ビジネスプロセスを作業としてでなく、全体から考える(全体最適) ・全体の中の位置づけを考えながら、見える化 ～誰が見てもわかるように表現する ・ユーザ主体の要件定義 ・業務のフローとシステムのフローのちがいを ・ツールに頼る”落とし穴”(図はコミュニケーションツール) ・ビジネス分析(業務の見える化)とプロジェクトの関係 [ビジネスモデルの分析] ヒヤリング(引出し・ワークショップ) 3. 要件定義と受入れテストの定義 ・複数テーマの分析(優先度、変更管理) ・機能の要件定義と非機能の要件定義 ・内外製分析(外部委託のポイント) ・ビジネスモデルのレビューとポイント 4. 要件定義書の維持管理 ・将来的にビジネス変化とともに必ず変更する ・他の業務への影響を分析する ・誰でも更新できるように履歴を残す [導入前の確認事項] シナリオテストのレビュー(ワークショップ)	
●到達目標		1. ビジネス価値を考えながら業務プロセスを見える化できること 2. 要件定義とシナリオテストが作成できること			

ヒューマンスキルコース:リーダーシップ

127 エンゲージメント向上研修 ～メンバーの意欲を高め離職を防ぐ新しい考え方～					NEW
実施日	8/27	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	31,900円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		"エンゲージメント"は、組織や仕事に対する従業員の前向きな心理状態を指す言葉です。業績や離職率との相関が証明されており、国内外の成長企業では"エンゲージメント経営"の導入が進んでいます。これまでのマネジメントをエンゲージメントを意識したものに変えるだけで、メンバーの意欲やチームの関係性が高まり、結果としてパフォーマンスが上がります。また、不要な離職を防ぐことができます。研修では、中堅企業のエンゲージメント向上を支援している経験豊富な講師からエンゲージメントの定義や具体的な向上方法を学び、現場での実践へと繋がります。		1. エンゲージメントとは (1)エンゲージメントの定義 (2)参加者の課題の共有 2. エンゲージメントを測定する (1)測定方法とツール紹介 3. エンゲージメント向上の具体策 (1)具体策と事例 4. プランニング (1)現場での実践計画(個人、組織) (2)発表、フィードバック	
●到達目標		1. エンゲージメントの定義と有用性を理解できる 2. 測定方法を理解し向上策を立案できる 3. 現場で実践する具体的な方策を描くことができる			

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:リーダーシップ

128 ファシリテーション力向上研修

実施日	9/14	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	31,900円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 1. ファシリテーションとは ・ファシリテーターの役割は何か ・ファシリテーションをするときの心構え ・ファシリテーターがやるべきこと ・ファシリテーションの4つの要素 2. 場の創出 ・目的を明確にする ・目標を設定する ・進め方(プロセス)、ルールを決める ・役割分担を決める ・空間としての場を決める 【ワーク】ケースをもとに「場のデザイン」設定 3. 対人関係の構築 ・全員が発言するために ・傾聴スキル ・質問スキル ・介入スキル ・説明スキル 4. 構造化の実行 ・主張を明確にする ・主張の全体像を把握する ・ホワイトボードを活用する 【ケーススタディ】議論をホワイトボードを使ってわかりやすく整理する 5. 合意形成 ・合意形成手法 ・独断からコンセンサスまで ・対立を恐れない ・ペイオフ・マトリックスの活用 6. ファシリテーション 総合演習 ・模擬会議 ・非協力的なメンバーへの対応 7. まとめ ・質疑応答 ・振り返り、今後の課題			
●カリキュラムの概要 会議運営・プロジェクト推進・課題解決に活用できるファシリテーションスキルを学びます。 ・ファシリテーターとしての役割を認識し、会議に向けての心構えを醸成します。 ・ファシリテーションスキルを習得し、生産性が高く、活性化を促す会議の進め方を学びます。 ・メンバーの建設的な意見を引き出し、拡散・収束・合意のプロセスを理解します。					
●到達目標 1. 会議の実施背景や目的、目標を加味した事前準備ができる 2. 参加者の意見や思いを引き出すための「傾聴」「介入」「観察」「質問」「発言」ができる 3. 「短時間で結論を導き出す」ための要点を踏まえ、中立な立場として会議を進行することができる 4. 的確に意見を集約し、参加者の合意形成を促すことができる					

129 サーバントリーダーシップ研修 ～部下の成長を促進する奉仕型リーダーシップ～

FISA 11

実施日	11/9	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 1. リーダーシップの全体像 ・リーダーシップとは何か ・ミッションを共有するチームの力 ・なぜサーバントリーダーシップが求められているのか ・従来のリーダーシップスタイルとの比較 2. サーバントリーダーシップの基本 ・サーバントリーダーシップの要素 ・具体的なリーダーシップ行動 ・事例を基に問題点と方法を考える【演習】 (私も業務で忙しい、みんなを引っ張れる気がしない) ・私の強みと弱みを知ろう【演習】 3. サーバントリーダーシップの実践 ・ミッション・ビジョンを共有する【演習】 ・メンバーを勇気づける、動機づける【演習】 ・支援スキル(育成・承認・共感・フィードバック・フォロー)【演習】 4. タイプ別のサーバントリーダーシップ ・ケース別に対応を考える【演習】 事例1: 未成熟で自由過ぎるメンバー 事例2: 有能だが孤立しているメンバー 事例3: 自分より経験豊富で年上のメンバー 5. 今後にむけたプラン ・リーダーシップ向上プランの作成と発表【演習】 6. まとめ ・質疑応答			
●カリキュラムの概要 サーバントリーダーシップは部下の仕事を支え同じ仲間として協働しながら、部下の信頼を得てリーダーシップを発揮するのが特徴です。「自分はどうすれば部下の役に立ち、目指すべき方向に導き、組織の目的を成し遂げられるか」というリーダーシップスタイルです。本研修では、部下への「奉仕」や「支援」の姿勢を徹底的に貫き、信頼を高め、成長を促進し、組織の目的を成し遂げる、という「サーバントリーダーシップ」を身に付けるためのプログラムです。					
●到達目標 1. サーバントリーダーシップの特徴と実践方法を学ぶ 2. リーダーシップ向上のためのアクションプランを作成し、実践につなげる					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:リーダーシップ

130 活かすフォロワーシップ					NEW
実施日	11/18～11/19	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		◎オリエンテーション 【講義】 ・チームが良い結果を出せない原因は？ 1. フォロワーシップとは 【演習】 (1) リーダーだけでチームはまとまらない (2) フォロワーシップとは (3) 部下だからこそのこと (4) フォロワーの5つのタイプ 2. フォロワーとしての心構え 【講義】 (1) リーダーの立場と考え (2) リーダーが期待すること (3) 完璧ではないリーダー リーダーのタイプとフォロワーのポイント (4) フォロワーの影響力 3. 提言力 【演習】 (1) 分析力 (2) 論理力 (3) 課題分析演習 (4) 提案力 上司へのコーチング (5) リーダーとの信頼構築 4. 貢献力 【演習】 (1) 報告・連絡・相談 (2) 確認 (3) 上司の力を引き出す (4) 他のメンバーをまとめる (5) メンバーとの信頼構築 (6) 自分にできることは何か？ 5. フォロワーとしての行動 【演習】 (1) リーダーとのフォロワーの行動 (2) メンバーとのフォロワーの行動 ◎総まとめ 【講義】 ・フォロワーとして			
●カリキュラムの概要					
御社のプロジェクトではこのようなことはありませんか？ ・メンバーがリーダー、マネジャーの言うことをきかない ・メンバーがリーダー、マネジャーの指示待ち ・メンバー同士がバラバラ このような問題を解決する研修です。 組織として成果を出すには、リーダーが「リーダーシップ」を発揮するだけで十分とはいえません。組織を構成する各メンバーが、組織の目的を理解し、リーダーや他のメンバーと連携して動く「フォロワーシップ」を発揮することが必要不可欠です。 本研修では演習やディスカッションを通して、メンバーの視点からリーダーや自分自身の役割を見つめ直し、働きやすい環境をつくり、自らの能力を効率良く発揮するための思考特性、そして行動特性を習得します。					
●到達目標					
1. 働きやすい環境をつくりだすための動き方、ならびに自らの能力を発揮するための考え方を習得することで、自身およびメンバーの信頼を深めることができる					

131 《オンライン研修》チームリーダーのための人に教える技術 ～自分で考えて動ける人材を育てる～					FISA 12 オンライン
実施日	11/25～11/26	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	55,000円(会 員) 60,500円(非会員)
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		◎オリエンテーション【講義】 1. 「教える」とはどういうこと？【講義・演習】 (1) 「教える」とはどういうこと？ (2) 「教える」ときに発生する障害とは (3) 「教える」ために学ぶこと 2. 教える前に行うべき準備とは 【講義・演習】 (1) 相手に教える前準備の「質問」 (2) 自分を知り、相手を知って教える 3. 「知識を教える技術」を考える【講義】 (1) 「教え方」についての誤解 (2) 教え上手な「指示」の出し方 (3) 基本的な学習モデルについて 4. 上手な「知識の教え方」を知る【講義】 (1) 仕事の全体像とつながりを見せる (2) 相手に「正確」に伝える (3) 知識を定着させる教え方 5. 「ちゃんとやりなさい」から抜け出す 【講義・演習】 (1) 一方的に話しては相手は納得できない (2) なぜ、何を学ぶのか？曖昧では動けない (3) 尊重の気持ちなしでは相手に届かない 6. 「意欲(モチベーション)」とは何か？【講義】 (1) モチベーションとは何か (2) モチベーションに関する理論 (3) メンバーのモチベーションを上げるには 7. 意欲を引き出す教え方とは 【講義・演習】 (1) 学ぶ場を楽しみと感じる雰囲気づくり (2) 教える人の心構えと意識 (3) 目標の達成をサポートする 8. メンバーの「行動」を変化させる教え方 9. 相手の癖や性格で教え方に变化 【講義・演習】 10. 場面別のメンバーの教え方 【講義・演習】 ◎総まとめ【講義】			
●カリキュラムの概要					
ITプロジェクトを成功に導くためには「自分で考えて動けるメンバー」が必須になっているといえます。そのためにコーチングなどの手法による「気づき」を重視する場面が増えていきます。 ただし、わからないことだらけの新人や、仕事があまくこなせていないメンバーには、コーチングとともに、きめ細かく丁寧に教えるティーチングも必要になります。 つまり、「気づき」の元となる「知識」は教える必要があります。そのうえで、学ぶ意欲を高める「教え方」をすることが大切です。この研修ではITプロジェクトを成功に導くための「自分で考えて動けるメンバー」を育てる「教え方」を様々な角度から学びます。					
●到達目標					
1. 「自分で考えて動ける人材」を育てるための「教え方」を身につける 2. メンバーのやる気を引き出す「教え方」を身につける					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

132 ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性					FISA 13
実施日	7/15	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間		●カリキュラムの詳細			
●カリキュラムの概要 五感を育み、感性をビジネスで活かす手法は、近年、スポーツ選手や海外でのビジネスには多く取り入れられています。 まずは、自分の体・心の状態を知り、思考のクセを見つけ、自ら心身のケアで整えていくことを身につけます。心身共にバランスの取れた軽快に動けるコミュニケーションを自ら考え行動する方法を学びます。		1. 自分の体・心の状態を知る ・自分の体と向き合う(からだミーティング) ・自分の心をどうチェックするのか? 2. メンタルヘルスケア ・リラックスとリフレッシュの違い ・メンタルヘルスケア・ワーク ・脳の活性化ワーク 3. 自分メンテナンスの重要性 ・脳機能のしくみ ・自分で調整することの重要性 4. 自分と長けている五感を知る ・ポジティブフィードバックワーク ・自分分析・長けている五感は何れか ・各感性別特徴 5. 五感マーケティング ・五感がどう影響するか ・なぜ今感性を活かしたコミュニケーションが有効なのか ・男女間での違い ・ケーススタディ 6. 総合 ・まとめ・感想・質疑応答 ・受講生からフィードバック・講師からコメント ・自分分析シートの記入			
●到達目標 1. 自分の体調に責任を持つ・自分メンテナンスについて理解する 2. 自分の心・体を知り、感性を活かしたコミュニケーションを取れるようになる					

133 【女性向け】ありたい自分のキャリアデザイン研修					
実施日	7/20～7/21	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間		●カリキュラムの詳細			
●カリキュラムの概要 女性の割合は26%(総務省統計局 労働力調査「情報通信業」)と、働きやすいと言われる割にはIT業界の女性は少数派です。 そんなIT業界の中で頑張っている女性のライフイベントを考慮した「キャリアデザイン」を作成するセミナーです。ご自身の興味関心・能力適正をアウトプットし自己理解を深め、仕事のキャリアやスキルの棚卸しを行い、仕事のやりがいや楽しさを客観的にみつめます。それらを経て、中長期的な「キャリアデザイン」の描き方が具体的に理解でき、明日から具体的な行動ができるようになります。同じような環境の女性同士でグループセッションを楽しみながら実施し、あたたかい信頼できるコミュニケーションが構築できます。また部下育成に必要なコミュニケーションスキルも習得できます。IT業界に詳しくカウンセリングやキャリア相談を実施している女性講師が受講生に寄り添いながらすすめていきます。		◎オリエンテーション【講義】 1. キャリアとは 【講義】 (1)なぜ今キャリアデザインなのか (2)IT業界における女性の登用 2. キャリア発達の全体像【講義・演習】 - 女性のライフキャリアレインボー 3. かけがえのない私のキャリアデザイン前編 4. 自己理解を深める【講義・演習】 (1)興味関心を知る (2)ゆるぎない価値観 - キャリアアンカーで価値観を知る (3)能力に気づく - コミュニケーションゲーム - ジョハリの窓で振り返り 5. 仕事理解を深める 【講義・演習】 ・仕事理解とは ・スキルの棚卸し ◎ これまでの振り返り・まとめ 【講義／演習】 (1)自己の強み・弱み・気づきをアウトプット (2)グループセッション 6. 傾聴スキル【講義・演習】 (1)傾聴技法 (2)仕事理解のための傾聴 ※傾聴セッション 7. かけがえのない私のキャリアデザイン後編 8. 目標設定【講義／演習】 (1)フレームワークを利用した目標設定 9. 方策の実行【講義／演習】 (1)方策の実行とは (2)具体的行動のための傾聴セッション ◎ 2日間の振り返り・まとめ 【講義／演習】 (1)自己の強み・弱み・気づきをアウトプット			
●到達目標 1. いままでのキャリアを振り返る 2. ありたい自分の「キャリアデザイン」を作成し持ち帰る 3. 明日からの方策を明確にし実行計画が作成できる					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

134 上司部下の関係で生かすアンガーマネジメント

FISA 14

実施日	7/27	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間				●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要 世代間、役職間で生じがちな感情的な行き違いを緩和するため、感情の仕組みを知り、冷静に対処する術を身につけます。 怒りやイライラの本当の原因は意外なところにあり、一人一人違うものです。 感情を無理に抑えるのではなく「マネジメント」できるようになることで、人間関係が改善するだけでなく業務効率も高まります。何より自分自身が楽になります。 さらにこの講座の中では、自分と身近な相手の考え方の特性を知り、タイプ別のコミュニケーション術を学びます。				1. 感情の仕組み (1)参加者の課題の共有 (2)感情の仕組み 2. 怒りとは (1)怒りの本当の原因 (2)怒りの対処法 3. タイプ別のコミュニケーション (1)気質で分類される4つのタイプ (2)それぞれに適した接し方 4. 総合演習 (1)自身のパターンの確認 (2)日常場面を想定したロールプレイ	
●到達目標 1. 感情の仕組みが理解できている 2. 現場で起きている問題の背景を読み解けている 3. 現場で実践する具体的な方策を描けている					

135 女性管理職(女性リーダー)育成研修 ～個性を認め 魅力あるチーム作りを目指して～

FISA 15
NEW

実施日	9/28	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	28,600円(会 員) 31,900円(非会員)
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間				●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要 女性の強みを活かしたチーム作りにおいて、これからの時代に必要な個性を知り、それぞれが活躍できるチーム力をアップさせるために必要なこと、女性リーダーとして、チーム内での在り方や、個々の意識の向上について必要な事を学びます。 ※本講座は女性限定の受講となります。				1. 個性とは何か (1)個性を知る (2)チームで個性を活かすために 2. リーダーの役割とは (1)チームにとってのリーダーとは (2)リーダーとしての存在意義 3. 魅力あるチーム作りに必要なこと (1)目的意識 (2)チーム内での個々の意識 4. 女性が働く職場としての環境作り (1)女性の身体とメンタル (2)仕事と家庭のバランス 5. 質疑応答、まとめ (1)質疑応答、まとめ	
●到達目標 1. 自己の個性を知り、チームで個性を活かす事を学ぶ 2. リーダーとしての役割を理解する 3. ワークライフバランスの実現を考える					

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

136

IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～

実施日	10/19～10/20	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間		●カリキュラムの詳細	
ITSS : 1-2				◎オリエンテーション【講義】 ・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション	
●カリキュラムの概要		IT人材に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。		1. ロジカルコミュニケーション【演習】 (1)論理とは (2)論理の基本形	
●到達目標		1. 独力でロジカルに考えることができる 2. 独力でプレゼンテーションのプランが立てられる 3. 他者と協力してプレゼンテーションが実施できる		2. 誰でもできる、ロジカルシンキング【演習】 (1)ロジカル4ステップ (2)個人ワーク (3)G内発表とフィードバック	
				3. より強固なロジカルシンキング【講義】 (1)why so? So What? (2)MECE (3)ストーリー性	
				4. プレゼンテーション【講義】 (1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？ (3)論理的なプレゼン	
				5. プレゼンテーションの導入【演習】 (1)自己紹介でつかむ (2)〇値法でつかむ (3)クイズ法でつかむ	
				6. プレゼンテーションの本論【演習】 (1)説明型 (2)主張型 (3)提案型	
				7. 実践、プレゼンテーション企画【演習】 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック	
				8. プレゼンテーションの実践【演習】 ・個別発表 -VTRIに収録- ・講師コメント	
				◎総まとめ ・自己成長のための指針	

137 心理学を応用したメンタルヘルス・マネジメント

実施日	10/21～10/22	日数	2日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	60,500円
●講座情報詳細		時 間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		平成27年12月1日にストレスチェック制度が創設されました。また、パワハラやセクハラ等が問題となっている昨今です。そこで本研修では、心の管理法を習得する心理学から考えられたメンタルヘルスマネジメント手法を提供します。心理学を基礎から学ぶことにより、個人の立場から具体的な行動レベルの知識を習得することができます。また、管理監督者の立場からメンタルタフネスを指導する方法や実際に起こり得る具体的な職場での対処法を学びます。		◎オリエンテーション【講義】 ・メンタルヘルスとは... ・メンタルヘルスの重要性	
●到達目標		1. メンタルタフネスについて正しい理解をする 2. メンバーのメンタル面を指導できる 3. 不調者に対して適切な対応ができる		1. 心理学の基礎 【演習】 (1)心理学の基礎 (2)心理学の歴史 (3)身近なものから分かる心理(行動・色など)	
				2. 心理学の応用 【演習】 (1)心理学の応用 (2)心の健康について (3)現代の心の病気にについて (4)メンタルヘルスと睡眠	
				3. メンタルヘルスマネジメント 【演習】 (1)健康な心の状態とは (2)ストレッサー (3)ストレス度とは (4)ストレスの書き出し (5)ストレス度チェック (6)セルフメンタルケアとは... (7)ビリーフチェンジ(ネガ・ポジ変換法) (8)感情コントロール(クリアリング法)	
				4. 自分を知らう 【講義】【演習】 (1)色彩心理学分析 (2)個々の行動パターンを分析 (3)心の強さを知らう (4)メンタルタフネスを作る	
				5. 職場で起きやすいハラスメント対策 【講義】 (1)パワーハラスメント (2)セクシャルハラスメント (3)モラルハラスメント	
				6. 職場でのコミュニケーション方法【演習】 (1)予防・早期発見の基本 (2)メンタルヘルス不全者のサイン (3)大切なコミュニケーション方法 (聴く・話す) (4)色彩をコミュニケーションに活かす方法 (5)相談を受けた際の注意・対応 (6)アンガーコントロール	
				7. 総合演習 【演習】 ・職場でのケーススタディ1、2、3 ・受講者からのフィードバック・講師コメント	
				◎総まとめ 【講義】 メンタルヘルスマネジメントのための指針 ～研修成果お持ち帰りシートの記入と全員発表	

【2021年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

138 産休育休前後の女性職員サポート				NEW	
実施日	1/18	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	31,900円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間				●カリキュラムの詳細 - 産休・育休をめぐる現状 - IT業界の女性活躍の現状 - 産休・育休により起こりがちな問題 - お互いを理解する - 参加者の課題の共有 - 課題の背景を考える - 円滑な取得・復帰のために - 取得前、休業中の対応 - 復帰後の対応 - プランニング - 現場での実践計画(個人、組織) - 発表、フィードバック	
●カリキュラムの概要 IT業界でも女性正社員の割合が高まる中、産休・育休取得者は今後ますます増えることが予想されます。産休・育休は、取得する方も現場に残る方も何らかの不安や不満を抱えるもの。それが大きくなると、人間関係の悪化や休業前後の離職に繋がります。そういった事態を防ぎ、復帰後にも元気に活躍してもらうためには、事前にお互いの立場や気持ちを理解し対応策を考えておくことが必須です。この講座の中では、2度育休を取得して復帰した経験を持つ講師から、リアルな事例と円滑な順応のための対応策を学びます。					
●到達目標 - 現場で起こりがちな問題と背景が理解できている - 取得者と職場に残る側のお互いへの理解が進んでいる - 現場で実践する具体的な方策を描けている					

139 ブラッシュアップ・ビジネスマナー ～信頼されるビジネスパーソンになるために～					
実施日	2/18	日数	1日間	受講料 (税込・テキスト代込み)	31,900円
●講座情報詳細 時 間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間				●カリキュラムの詳細 - ブラッシュアップ！ビジネスマナー - ビジネスマナーの重要性と効果について - ビジネスマナーで重要な3つの「こ」 - 勝負は一瞬！第一印象の重要性 - 第一印象の重要性 - 第一印象をよくするための3つのポイント - ほんの少しで差がつく立ち居振る舞いとは - 会いたい！と言われる電話応対 - 電話応対者の役割と心構え - こんなときどうする？ケーススタディー - 電話応対者に求められるプロ意識 - 信頼を勝ち取る！言葉遣い - 敬語の正しい使い分け - ワンランク上の言葉遣いと相手の心に残る言葉遣い - 信頼されるビジネスパーソンになるために - 堅苦しいマナーはおさらば！あなたらしさが輝くビジネスマナーとは - 信頼から生まれるビジネスチャンス - ビジネスパーソンにもとめられるコミュニケーション	
●カリキュラムの概要 ビジネスマナーを学んでから時間が経ってしまい、「よくわからないまま自己流でやっている」「確信が持てない」「今さら誰にも聞けない」ということはありませんか。本講座では、形を覚えるマナーではなく、心を動かし、技を身につけ、あらゆるビジネスシーンに対応できるマナーを実践的に学びます。実践的なロールプレイングを交え、社内外で信頼されるビジネスパーソンを目指します。					
●到達目標 - ビジネスパーソンとしての必要なマナーを身に着ける - 円滑なコミュニケーションがとれる					

お申込み方法

- ・講座の受講お申し込みは、「個人情報の取り扱いについて」をご承諾のうえ、「受講申込書」(P30)に必要事項をご記入いただき、FAXまたは弊社Webサイト(<https://www.fsc-go.co.jp>)よりお申込みください。
- ・FISA会員様が、FISAタイアップ研修の受講お申し込みをされるときは、専用申込用紙(P31)に必要事項をご記入いただき、FISA事務局へ、郵便またはFAXにて直接お申込みください。
- ・受講申込の受付は、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・講座開催が決定いたしましたら、受講通知書・受講票・請求書を申込責任者宛にお送りいたします。
- ・お申込みが少ない場合は、やむをえず中止とさせていただく場合もございます。予めご了承ください。
- ・中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
- ・各講座のお申込み締め切りは、講座開始日の20日前となります。
- ・申し込み後のキャンセルにつきましては、下記のとおりです。

講座開始日の前営業日より起算して		キャンセル料
お申込日	～ 11営業日前まで	無料
10営業日前	～ 6営業日前まで	受講料の 50%
5営業日前	～ 当日	受講料の100%
講座開始後の不参加		受講料の100%

受講料払込み方法

●福岡ソフトウェアセンター主催講座

講座開催決定後、ご請求書を送付いたします。ご請求書に記載しております所定の金融機関に、**各講座受講終了日より2週間以内にお振り込みください。**
振込手数料は、貴社負担でお願いいたします。

●FISA(一般社団法人福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修

事務局よりご請求書を送付いたします。
受講料は、**各講座開始日前までにお振り込みください。**
振込手数料は、貴社負担でお願いいたします。

お申込みお問い合わせ先

●福岡ソフトウェアセンター主催講座

株式会社 福岡ソフトウェアセンター

【福岡研修室】

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F(506)
TEL:092-292-9710 FAX:092-292-9715 E-mail:info@fsc-go.co.jp
担当:中村、犬丸

【本社】

〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526-1
TEL:0948-21-1281 FAX:0948-21-0173 E-mail:info@fsc-go.co.jp

●FISA(一般社団法人福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修

一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会
〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル3F
TEL:092-832-1344 FAX:092-845-1003

個人情報の取り扱いについて

株式会社 福岡ソフトウェアセンターは、弊社の教育講座受講の申し込みの際に、貴殿よりご提供された個人情報、及び、一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会とのタイアップ研修で申し込まれた個人情報の取り扱いについて次のように管理し、保護に努めます。

1. 個人情報とは

個人情報とは、個人に関する情報であり、氏名、生年月日、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、画像などによって個人を識別できる情報のことをいいます。

2. 収集範囲、利用目的

教育講座受講者を識別する為、氏名・性別・生年月日・企業名・所属部 課名・役職・年齢・従事業務内容・従事期間などの情報を収集いたします。

受講通知書の送付・連絡、受講者のご確認、研修を行う上でのスキル判断、受講証明の発行、研修の案内、請求書の発行、緊急時の連絡手段、IT技術者育成 研修講座の実施に必要となる範囲内において利用いたします。

3. 第三者への提供

上記の場合または法律で定められている場合を除いて、応募される方々の個人情報を当該応募者の同意を得ず第三者に開示・提供することはありません。

4. 個人情報の適正管理について

お預かりした個人情報は弊社にて厳重に管理します。なお、貴殿からご提出いただいた必要書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

5. 個人情報の開示・訂正・削除について

弊社が保有する貴殿の個人情報について、開示を請求することができます。また開示の結果、個人情報の訂正・削除を請求することもできます。貴殿ご自身の個人情報の開示・訂正・削除を請求される場合は、下記連絡先にご連絡をお願い致します。なお、本手続きにあたり、貴殿がご本人であることを確認させて頂くことがあります。

6. 個人情報提供についての同意の確認

上記1～5について同意をいただいた上で、申し込みをお願いいたします。但し、情報の提供は任意です。
なお、適切な情報が提供されない場合、当該情報に関する処理が行われませんので、予めご了承ください。
(その際はその都度、個別に説明をさせていただきます。)

※ 弊社における個人情報の取り扱いについては、下記の弊社ホームページに「個人情報保護方針」を掲載しておりますのでご参照ください。

<https://www.fsc-go.co.jp/privacy.html>

個人情報に関するお問い合わせ先

〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526番地1
株式会社 福岡ソフトウェアセンター
個人情報保護管理者
TEL: 0948-21-1281
FAX: 0948-21-0173
E-mail: info@fsc-go.co.jp

FSC 受講申込書

前頁「個人情報の取り扱いについて」を承諾のうえ申し込みます。

会社名			TEL	
住 所			FAX	
お申込責任者	氏 名		所属部課	
	E-mail		役職	

講座分類	講座名

フリガナ		生年月日		受講場所*	勤務年数
受講者氏名		性別	年齢		SE経験年数
メールアドレス*				所属部課・役職	
1		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
2		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
3		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
4		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
5		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年

*オンライン研修をお申込みの場合は、受講者のメールアドレスと受講場所を必ずご記入ください。

*最低開催人数は5名とさせて頂いております。

中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させて頂きます。

*お申込みはFAX又は弊社Webサイトよりお申込みください。(https://www.fsc-go.co.jp)

*受講申込み締切は講座開始日の20日前となります。

*申込み後のキャンセルにつきましてはP28をご参照ください。

FISAタイアップ研修 受講申込書

(実施機関:株式会社福岡ソフトウェアセンター)

会社名				TEL	
住 所				FAX	
お申込 責任者	氏 名			所属部課	
	E-mail			役職	

No.	講座名	日数	期間	会員受講料	非会員受講料
F1	Raspberry PiによるIoTことはじめ	2日間	10/25～10/26	55,000円	60,500円
F2	仕事に役立つデータ分析 ～統計分析の基礎から実践編までを学ぶ～	2日間	11/11～11/12	55,000円	60,500円
F3 オンライン	《オンライン研修》ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」	2日間	2/1～2/2	55,000円	60,500円
F4	Pythonによる機械学習入門	2日間	7/12～7/13	55,000円	60,500円
F5	Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで～	3日間	8/30～9/1	69,300円	77,000円
F6	KerasによるAIモデルの構築手法	2日間	11/30～12/1	55,000円	60,500円
F7 オンライン	《オンライン研修》Pythonで学ぶ機械学習	3日間	2/8～2/10	69,300円	77,000円
F8	信頼されるSEに求められる問題解決力	3日間	8/23～8/25	69,300円	77,000円
F9	アイデアの発想展開法	2日間	9/2～9/3	55,000円	60,500円
F10	テレワーク時代のはじめての業務の見える化(要件定義)入門	2日間	1/13～1/14	55,000円	60,500円
F11	サーバントリーダーシップ研修 ～部下の成長を促進する奉仕型リーダーシップ～	1日間	11/9	28,600円	31,900円
F12 オンライン	《オンライン研修》チームリーダーのための人に教える技術 ～自分で考えて動ける人材を育てる～	2日間	11/25～11/26	55,000円	60,500円
F13	ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性	1日間	7/15	28,600円	31,900円
F14	上司部下の関係で生かすアンガーマネジメント	1日間	7/27	28,600円	31,900円
F15	女性管理職(女性リーダー)育成研修 ～個性を認め 魅力あるチーム作りを目指して～	1日間	9/28	28,600円	31,900円

受講者	フリガナ	性別	生年月日(年齢)	受講場所	講座No.
	受講者氏名		メールアドレス	所属部課/役職	
1		男・女	年 月 日 ()	会社・自宅・他	
2		男・女	年 月 日 ()	会社・自宅・他	
3		男・女	年 月 日 ()	会社・自宅・他	

* オンライン研修をお申込みの場合は、受講者のメールアドレスと受講場所を必ずご記入ください。

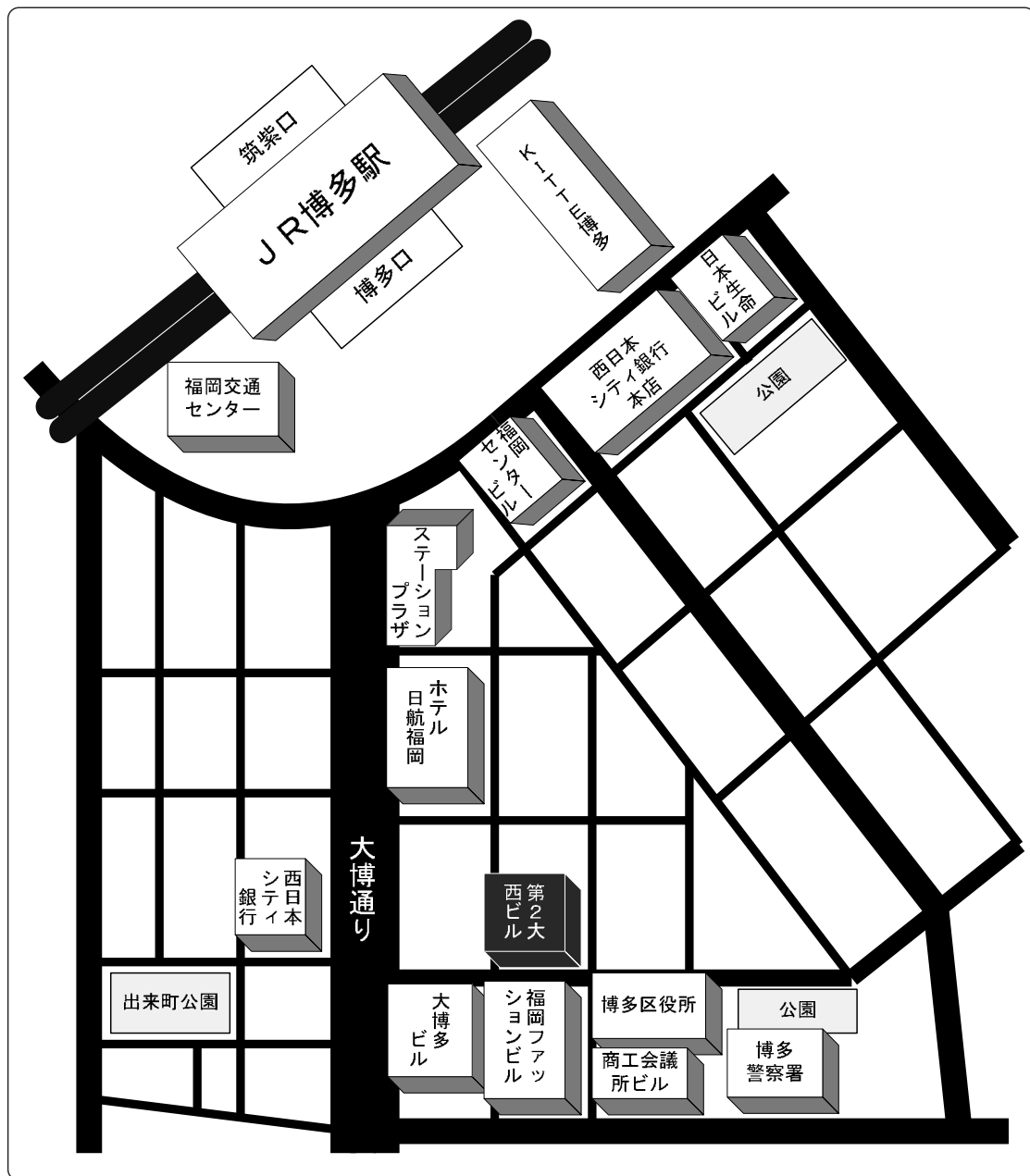
* 受講料はテキスト代金を含む税込み価格です。

* 助成金等の申請に必要な証明は、当協会にて準備いたしますので、お申しつけください。

* 本受講申込書によりお客様から頂いた個人情報は、本セミナーの申込受付・受講通知書発送・請求書発送・受講証明書発行・緊急時の連絡手段としてのみ使用いたします。 また、お客様から頂いた個人情報は当協会共催の教育機関のみが取扱い、その他の第三者には一切開示提供いたしません。

* 受講申込み締切は講座開始日の20日前となります。申込み後のキャンセルにつきましてはP28をご参照ください。

研修会場のご案内



【福岡研修室】

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F(506)

TEL:092-292-9710

FAX:092-292-9715

【交通アクセス】

JR博多駅より

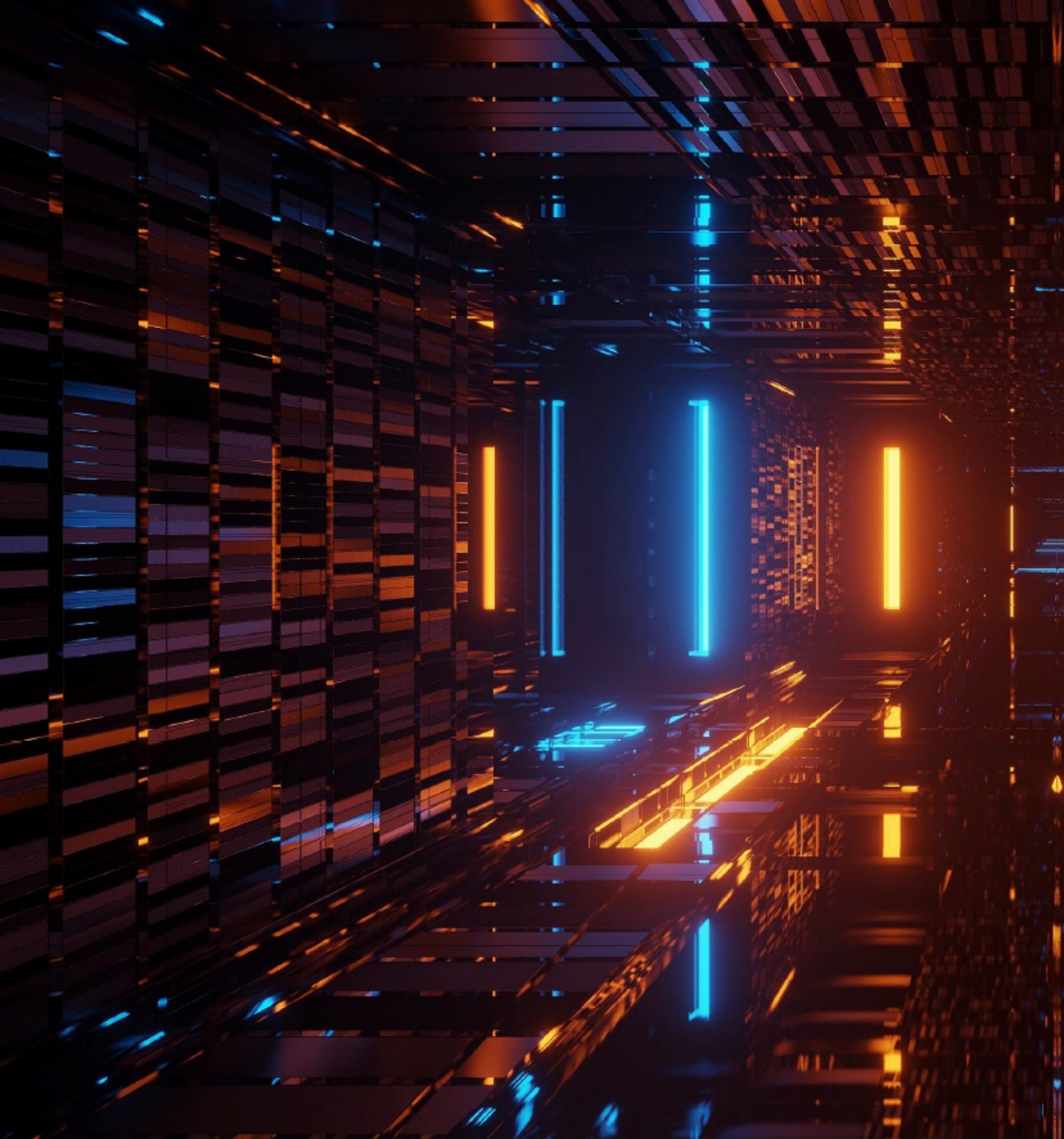
徒歩 10分

市営地下鉄空港線の祇園駅より

徒歩 4分

西鉄バス博多駅前一丁目のバス停より

徒歩 2分



株式会社 福岡ソフトウェアセンター

本 社 〒820-0066
福岡県飯塚市幸袋526-1
TEL 0948-21-1281 FAX 0948-21-0173

福岡研修室 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F
TEL 092-292-9710 FAX 092-292-9715